

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-185	高等学校	国語	論理国語	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		

1.編修の基本方針

①言葉による見方・考え方を働かせ、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。

- ・各単元扉に、その単元での学習目標を示すとともに、教材ごとに学習する主な目標も示しました。また、読解教材の「発問」や「学習の手引き」において、学習が効果的に行えるようなポイントを示しました。
- ・単元内に「書くこと」の言語活動教材を配置することで、単元内の読解教材と併せて、「書く」「読む」の学習がバランスよく行えるようにしました。

②論理的思考力や伝え合う力を育み、実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。

- ・論理的思考力を身につける教材として、文化・社会・科学などの分野の評論をバランスよく採録、配置しました。
- ・「論理の力」と題した教材では、論理的思考力を養うための学習を重点的に行えるようにしました。更に、読解教材の「学習の手引き」に設けた「論理の力」の課題から、「論理の力」の教材にリンクさせ、関連づけて扱えるようにしました。
- ・言語活動教材の学習過程や、読解教材の「学習の手引き」に設けた「言語活動」の課題において、話し合ったり、書いたものを読み合ったりする活動を取り入れることにより、「書く」「読む」の学習の中で伝え合う力を養えるようにしました。
- ・「働くよるこび」と題した単元では、働く人の思いに触れる複数の読解教材を通して、社会の中で生きること、働くことについて、考えを深められるようにしました。

③教材本文とコラム・附録とを有機的に関連させ、多様な学習に対応できるようにする。

- ・「論理の力を鍛えよう」や「文章を読み比べるために」、「図表の読み取り方」といったコラムでは、論理的な考え方や文章・図表の読み解き方について、分かりやすく示しました。
- ・「考える楽しみ」と題したコラムのシリーズでは、読解教材本文と関連づけながら、考えを深めるための切り口を提示しました。
- ・読書に親しみ教養を高めるために、「ブックガイド」を2か所に掲載し、学問や現代社会に関連するテーマの図書を紹介しました。
- ・附録には、「思考ツール・発想の方法」「原稿用紙の使い方」「パソコンを用いたレポートの書き方」「手紙・メールの書き方」「履歴書の書き方」「面接の受け方」「論文・レポートの種類と構成」といった資料を用意し、実社会で必要となる知識や技能も含めて、多様な学習に対応できるようにしました。
- ・附録として掲載した「この教科書で学ぶこと」では、「書くこと」「読むこと」の各教材について、どんな事項を学習するのかを一覧で示し、学習の見通しや振り返りに生かせるようにしました。

2.対照表

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
I 部	1 広がる風景	<ul style="list-style-type: none"> ・対話とおしゃべりの対比を通して、コミュニケーションの在り方を問いかける評論を用意しました。(第3号) ・「文脈」というキーワードを通して、読書をするこの意味を論じる評論を用意しました。(第1号) 	→8～14ページ →15～20ページ
	2 考える手がかり	<ul style="list-style-type: none"> ・広島で被爆死した少女たちが着ていた衣服を通じて、平和について考える文章を用意しました。(第5号) ・人間の内的な世界と切り離されたところで発展してきた自然科学の限界を論じ、物語や神話が、人間と世界との関わりを理解する重要な役割を果たすのだと述べる評論を用意しました。(第1号) ・成年年齢の引き下げを題材として取り上げ、集めた資料を整理する活動を通して、成人となる自覚を促す教材を用意しました。(第3号) 	→24～33ページ →34～41ページ →44～52ページ
	3 人間と知性	<ul style="list-style-type: none"> ・人はなぜ勉強しなければならないのか、という問いを通して、学ぶことの意義を説き明かす評論を用意しました。(第1号) ・社会にみられるさまざまな事故を例としながら、人間の脳の限界について警鐘を鳴らす評論を用意しました。(第1号) 	→54～63ページ →64～70ページ
	4 現実の中で	<ul style="list-style-type: none"> ・個人生活や社会生活において、すぐには答えが出ない困難な問題に直面した時、分からないまま正確に対処することができるよう、思考に体力をつけることが必要であると説く評論を用意しました。(第3号) ・安心とは頼れる人がそばにいてくれること、という世界に共通する感覚を挙げる一方で、冒頭の車の例を理解できない貧しい国の人々がいることにも触れ、広く社会や世界に目を向けさせる文章を用意しました。(第5号) ・高校生の読書量をテーマに、仮説を立てて検証する活動を通して、読書習慣を振り返る契機となる教材を用意しました。(第1号) 	→74～80ページ →81～89ページ →91～98ページ
	5 ものの見方	<ul style="list-style-type: none"> ・自然界における捕食者と被食者の関係から、弱肉強食は必ずしも自然の摂理ではないと説く評論を用意しました。(第4号) ・パプアニューギニアの事例を引き合いに、「わたし」というものが状況や相手との関係性に依拠して変化するものであると説く評論を用意しました。(第1号) 	→100～110ページ →111～117ページ
	6 働くよろこび	<ul style="list-style-type: none"> ・服飾デザインの仕事の経験を通して、言葉が果たす役割を伝える文章を用意しました。(第2号) ・「楽に働く」ことが単純に「楽しく働く」ことにつながるわけではないのか、と問いかけ、筆者自身が「楽しく働く」ために参考になった本を紹介する文章を用意しました。(第2号) ・出版社で登山ガイドを作成した経験を通して、働くことで得た学びについて伝える文章を用意しました。(第2号) 	→120～127ページ →128～138ページ →139～146ページ
	論理の力	<ul style="list-style-type: none"> ・「論理」とは何かということについて学び、論理的な思考をする態度を養う教材を用意しました。(第1号) ・接続表現の意義と使い方を学び、文章の論理的関係を適切につかむ力を養う教材を用意しました。(第1号) ・論証の説得力を「根拠」と「導出」という観点から分析し、適切に論証を把握する力を養う教材を用意しました。(第1号) ・文章の「問い」と「答え」の構造に注目し、「答え」に当たる中心的主張を適切に取り出す力を養う教材を用意しました。(第1号) ・質問することの意義や質問の種類を学ぶことを通して、適切に質問する力を養う教材を用意しました。(第1号) 	→152～153ページ →154～159ページ →160～163ページ →164～167ページ →168～172ページ

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
Ⅱ部	1 時代をひらく	<ul style="list-style-type: none"> ・不確実な状況下で判断を下すことの困難を乗り越えようとする感情が、創造性を支えているのであると説く評論を用意しました。(第3号) ・生物が多様であることの重要性を説き、その保全のためには、量から質へ、豊かさの捉え方を変えるべきであると述べる評論を用意しました。(第4号) 	<p>→174～181ページ</p> <p>→182～189ページ</p>
	2 新しい視点から	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的に整序された語りから失われるものに目を向け、圧倒的な体験を語る・聞くときの姿勢について述べる評論を用意しました(第5号) ・喫茶店で開店準備をする女性の観察から、そのような平凡な日々の細部の積み重ねが私たちの生の容貌であり、それに耐えることでしか次の段階は開かれないのだと述べる文章を用意しました。(第2号) ・フットプリントという概念を取り上げ、短い論文を書いて読み合う活動を通して、環境保護への意識を養う教材を用意しました。(第4号) 	<p>→192～202ページ</p> <p>→203～209ページ</p> <p>→213～218ページ</p>
	3 科学と人間	<ul style="list-style-type: none"> ・事実を観察するという行為は、観察時の状況や観察者の持つ背景知識によって左右されることを述べる評論を用意しました。(第1号) ・ロボットが自由意志を持つとはどういうことかを問いながら、人間が持つ自由意志について考察する評論を用意しました。(第1号) 	<p>→220～228ページ</p> <p>→229～237ページ</p>
	4 言葉のはたらき	<ul style="list-style-type: none"> ・ギリシャ以来の伝統的な言語観とソシュールの言語観を対置して、言語の特徴を提示する評論を用意しました。(第1号) ・味やおいしさに関する例を通して、体験を言語化することの役割について考察した評論を用意しました。(第1号) ・エコカーの普及を題材に、資料を活用して論述する活動を通して、気候変動への対策を考える教材を用意しました。(第4号) 	<p>→242～249ページ</p> <p>→250～258ページ</p> <p>→263～270ページ</p>
	5 知のゆくえ	<ul style="list-style-type: none"> ・本とインターネットとの比較から、本の利点を知識における作者性と構造的に見いだす評論を用意しました。(第1号) ・SNSにおけるニュースと新聞におけるニュースの比較から、アルゴリズムによる最適化がもたらす影響について考察する評論を用意しました。(第1号) 	<p>→272～280ページ</p> <p>→281～289ページ</p>
	6 明日をみつめて	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸時代の贋金づくりや預かり手形の事例を取り上げながら、貨幣の本質を探る評論を用意しました。(第1号) ・大阪万博が示した未来社会を例に、「未来」というものは現在時の中の人々の予想や予期や想像の中にあり、それらを生み出す社会意識の中にあるのだと述べる評論を用意しました。(第3号) ・さまざまな人が知るべき重要な情報を誰にでも伝わるように表現するための方法について、実用文を通して学べる教材を用意しました。(第3号) 	<p>→292～300ページ</p> <p>→301～311ページ</p> <p>→312～316ページ</p>

3.上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 将来の進路の選択や、一般的な教養を高めることに資するよう、教材の中で多様なテーマを取り上げるとともに、ブックガイドを掲載して読書へといざなうように配慮しました。(学校教育法第51条2号)
- 社会人として必要とされる国語の能力の基礎を身につけることができるように、コラム「言葉の扉」(4か所)を設け、言葉に対する関心を喚起し、言葉の正しい使い方について考える内容を示しました。また、言語活動教材において、社会生活の中からテーマや課題を設定し、調べたことを多角的に検討して考えを深め、分かったことや考えたことを文章にまとめる学習を多く取り上げました。(学校教育法第51条3号)

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
107-185	高等学校	国語	論理国語	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		

1.編修上特に意を用いた点や特色

①目標

・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成するという「目標」を踏まえ、「内容」に示された「知識及び技能」の3事項と「思考力、判断力、表現力等」の2領域の学習が効率的・有機的に行えるようにするとともに、「学びに向かう力、人間性等」を十分に養うことができるように配慮しました。

②「知識及び技能」

- ・漢字および語彙については、読解教材の脚注欄に「本文に出る漢字」の関連語句や「注意すべき語句」を示したり、「学習の手引き」の後に「漢字と語彙」の問題を掲載したりすることで、意識的・継続的に学べるようにしました。
- ・コラム「言葉の扉」(4か所)を掲載し、漢字・語彙など、国語の知識・技能を養う内容を取り上げました。
- ・「論理の力」と題した教材では、情報と情報との関係や情報の整理を含め、論理に関する内容を重点的に学べるようにしました。
- ・新たな考えの構築に資する読書へのいざないとして、「ブックガイド」(2か所)を掲載しました。

③「思考力、判断力、表現力等」の「A 書くこと」

・資料の概要をまとめたり、意見文や短い論文を書いたりする言語活動教材を用意するとともに、読解教材との相互関連を図りました。

④「思考力、判断力、表現力等」の「B 読むこと」

- ・教材については、「3 内容の取扱い」(3)アの観点に示された事項に留意して選定しました。
- ・文章の読み比べについて取り立てて学べるよう、コラム「文章を読み比べるために」を用意するとともに、読み比べに適した複数の評論教材を掲載しました。
- ・実用的な文章の読み取りに対応した教材として、「やさしい日本語」を掲載しました。

2.対照表

単元	教材名	学習指導要領の内容			頁	配当時数			学期
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等			書	読	計	
			書くこと	読むこと					
I 部									
1 広がる風景	対話とは何か	(1)ア、イ、ウ	(1)ア	(1)ア、エ ／(2)イ	8	1	2	3	1 学期 24
	新しい文脈	(1)ア、イ、ウ		(1)ア、エ、カ ／(2)イ	15		2	2	
	■論理の力を鍛えよう	(2)ア		(1)エ	21				
	【論理の力】論理とは何か	(2)ア、イ、ウ		(1)ウ、エ	152		1	1	
2 考える手がかり	少女たちの「ひろしま」	(1)ア、イ、ウ		(1)イ、エ、カ ／(2)オ	24		3	3	
	【論理の力】要約する力	(2)ア、イ		(1)ア、エ	164		2	2	
	「ふしぎ」ということ	(1)ア、イ、ウ	(1)ア	(1)ア、カ	34	1	3	4	
	言葉の扉①……慣用句の意味	(1)イ		(1)ア	42				
	【論理の力】つなげる力	(1)ウ／(2)ア		(1)ア、エ	154		2	2	
	〔書く〕資料を整理し、テーマを吟味しよう	(2)ア、イ	(1)ア、イ、エ ／(2)ア	44	7		7		
3 人間と知性	学ぶことと人間の知恵	(1)ア、イ、ウ	(1)ア、オ	(1)ア、オ、キ	54	1	3	4	
	ラップトップ抱えた「石器人」	(1)ア、イ、ウ	(1)ア、エ、オ ／(2)エ	(1)ア、オ、キ ／(2)オ	64	1	3	4	
	■文章を読み比べるために	(2)ウ		(1)キ／(2)エ	71				
	【論理の力】論証する力	(2)ア、ウ		(1)ウ、カ	160		2	2	
4 現実の中で	思考の肺活量	(1)ア、イ、ウ	(1)ア	(1)ア、エ ／(2)イ	74	1	3	4	
	安心について	(1)ア、イ、ウ	(1)ア、イ、オ	(1)ア、ウ、エ ／(2)ア	81	1	3	4	
	考える楽しみ①……言葉にすると、しなるとき	(1)ア		(1)ア	90				
	【論理の力】質問する力	(2)ア、ウ		(1)エ、カ	168		2	2	
	〔書く〕仮説を立てて検証しよう	(1)エ／(2)ア、ウ／(3)ア	(1)ア、エ、オ ／(2)イ		91	8		8	
5 ものの見方	弱肉強食は自然の摂理か	(1)ア、イ、ウ	(1)ア、カ	(1)イ、エ	100	1	2	3	
	複数の「わたし」	(1)ア、イ、ウ	(1)ア	(1)ア、ウ	111	1	3	4	
	ブックガイド①……学びの窓をひらいて	(3)ア		(1)キ	118				
6 働くよるこび	はじめに「言葉」がある	(1)ア、イ、ウ		(1)ア、カ ／(2)イ	120		3	3	
	楽に働くこと、楽しく働くこと	(1)ア、イ、ウ	(1)ア、イ、オ	(1)イ、オ	128				
	情景のなかの労働	(1)ア、イ、ウ		(1)イ、オ	134	1	3	4	
	鉄、千年のいのち	(1)ア、イ、ウ		(1)イ、オ	137				
								3 学期 18	

単元	教材名	学習指導要領の内容		頁	配当時間			学期	
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		書	読	計		
			書くこと						読むこと
	地図を作る	(1)ア、イ、ウ	(1)オ	(1)ア、キ	139				
	■参考 「住宅地図」はこう作られる	(1)ア、イ、ウ		(1)イ、オ	147	1	3	4	
	言葉の扉②……知っておきたいカタカナ語	(1)イ		(1)ア	149				

単元	教材名	学習指導要領の内容		頁	配当時間			学期	
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等		書	読	計		
			書くこと						読むこと
Ⅱ部									
1 時代をひらく	最初のペンギン	(1)ア、イ、ウ	(1)ア、オ	(1)ア、エ、カ	174	1	3	4	
	豊かさと生物多様性	(1)ア、イ、ウ		(1)ア、ウ、キ／(2)ウ、オ	182		4	4	
	考える楽しみ②……「真の価値」を求めて	(1)ア		(1)ア	190				
2 新しい視点から	もどかしいままを口にする	(1)ア、イ、ウ		(1)ア、エ、カ	192		4	4	1 学期 24
	カフェの開店準備	(1)ア、イ、ウ	(1)ア、エ、オ	(1)ア、エ／(2)イ	203	1	3	4	
	言葉の扉③……紛らわしい漢字	(1)イ		(1)イ	210				
	〔書く〕短い論文を書いて読み合おう	(1)エ／(2)ア	(1)ア、ウ、カ／(2)ウ		213	8		8	
3 科学と人間	科学的「発見」とは	(1)ア、イ、ウ		(1)イ、カ	220		4	4	
	ロボットが隣人になるとき	(1)ア、イ、ウ		(1)ア、ウ、カ／(2)ウ	229		4	4	
	言葉の扉④……的確に表現するために	(1)ウ		(1)ア	238				
4 言葉のはたらき	言葉は「ものの名前」ではない	(1)ア、イ、ウ		(1)ア、ウ、カ	242		4	4	2 学期 28
	おいしさの言語化	(1)ア、イ、ウ	(1)ア、イ、オ	(1)ア、ウ、エ	250	1	4	5	
	◆図表の読み取り方	(2)イ	(1)ア		259				
	〔書く〕資料を活用して論述しよう	(1)エ／(2)ア、イ	(1)ア、イ、オ／(2)エ		263	11		11	
5 知のゆくえ	知識における作者性と構造的性	(1)ア、イ、ウ	(1)ア	(1)ア、オ、キ／(2)ウ	272	1	3	4	
	アルゴリズムと偶然性	(1)ア、イ、ウ	(1)ア、エ、オ／(2)エ	(1)ア、オ、キ／(2)イ	281				
	ブックガイド②……現代を生きるために	(3)ア		(1)キ	290	1	3	4	
6 明日をみつめて	ホンモノのおカネの作り方	(1)ア、イ、ウ		(1)ア、エ、オ／(2)ア、オ	292		4	4	3 学期 18
	未来のありか	(1)ア、イ、ウ	(1)ア、エ、オ／(2)エ	(1)ア、エ、キ	301	1	3	4	
	〔読む〕やさしい日本語	(1)ア、ウ／(2)イ		(1)ア、エ／(2)ア	312		2	2	
(Ⅰ部・Ⅱ部)合計						50	90	140	

常用漢字以外の使用漢字一覧表

(数字は初出ページを示す。)

(目次)

2 梯 隼 祐 眞 鷲 廣 淵 彦 3 弘 圭 之 智 鷹 晃 4 尹
昌 亨 5 哉

(本文)

26 縊 28 芥 伊 29 閃 30 奢 35 迦 牟 43 漕 45 憑 54 瑣
64 珂 66 謬 74 揉 76 綜 78 趨 85 癌 104 檻 122 嘉 123
熨 125 穰 131 釘 132 蒲 隈 136 逗 栗 137 梁 144 攀 145
塵 謚 152 繹 164 藪 178 闊 179 醜 酬 188 棘 192 暢 193
灌 坦 194 迂 196 疆 200 栗 211 厭 227 甦 238 邊 240 敲
247 獅 260 爬 261 俯 瞰 265 靱 272 莫 273 剽 277 蔓 290
幡 亮 浩 叡 292 燦 薩 秤 293 礪 294 箔 鴻 295 匆 297 裔
而 332 晰

音訓一覽表

(数字は初出ページを示す。)

(目次)

2 英雄^{ひでお} 三宅^{みやけ} 久美子^{くみこ} 河合^{かわい} 長谷川^{はせがわ} 清一^{きよかず} 3 俊弘^{としひろ} 裕之^{ひろゆき} 節^{たかし} 幸伯^{ゆきのり} 資子^{もとこ} 4 雄大^{うんで} 茂樹^{しげき}
たつる 5 吉見^{よしみ} 戸谷洋志^{とやひろし} 克人^{かつひと}

(本文)

【I部】

26 陽^ひ 28 伊兵衛^{いへい} 30 華奢^{きわしや} 35 釈迦^{しやか} 42 失くして 43 額田王^{ぬかたのおおきみ} 熟田津^{にきたつ} 79 鬱ぎ^{ふき} 82
運命^{きだめ} 118 友紀^{ゆき} 真男^{まさお} 120 眼^め 123 熨斗目^{のしめ} 124 早稻田^{わせだ} 134 中山道^{なかせんどう} 奥秩父^{おくちちぶ} 神流^{かんな} 136
背負子^{しよいこ} 137 陸奥^{むつ} 常一^{つねかず} 144 泰史^{やすし} 拓かれて 149 活かす 155 お腹^{なか}

【II部】

196 部^べ 199 太田川^{おおたがわ} 200 怖気^{おぞけ} 214 明子^{あきこ} 220 如かず 252 紅葉^{もみぢ} 275 樹^き 290 唯介^{ゆうすけ} 達博^{たつひろ}
重規^{しげき} 292 佐土原^{さどわら} 293 天保^{てんぼう} 294 天王寺^{てんのうじ}

(附録)

322 明朝^{みんちよう}

出 典 一 覧 表

※下記以外の教材、写真、図、地図はすべて自社作成。原則として、表記・句読点の訂正は除く。

申 請 図 書			出 典					備 考
ページ	名 称	種別	名 称	ページ	著作者等	発行者	発行年次等	
①②	走るシマウマの群れ	写真						アマナ 22206001865
7	話をしながら歩く学生	写真						アフロ 103794747
8	対話とは何か	国語教材	『対話をデザインする』	19	細川英雄	筑摩書房	2019	(下欄参照)
原典 P 19 L 6～P 24 L 8を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／題名を「対話とは何か」とした。／P 21 L 8小見出し「モノログとダイアログ」→削除。／P 23 L 4小見出し「対話によって人は何ができるのか」→削除。								
8	教室	イラスト						A0I
11	講義	イラスト						A0I
13	(顔) 細川英雄	写真						細川英雄
15	新しい文脈	国語教材	『なぜ働いていると本が読めなくなるのか』	233	三宅香帆	集英社	2024	(下欄参照)
原典 P 233 L 4～P 236 L 13を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／題名を「新しい文脈」とした。／P 233 L 4「そのとき」→「そのとき自分が」／P 233 L 11「見つける」→「見つけたりする」／P 234 L 1「だからこそ本を読むと」→「だからこそ私たちは本を読む。そうすることで」／P 234 L 5～L 12「だから私たちは…かもしれない。」→削除。／P 235 L 2「新しい「文脈という名のノイズ」」→「新しい文脈という名のノイズ」／P 235 L 8「だが」→削除。／P 236 L 1～L 2「そんな余裕…社会だからだ。」→削除。／P 236 L 3行頭に「先ほども書いたように、」を追加。／P 236 L 4「いつか自分につながってくる文脈なのかもしれない。」→「その文脈は、いつか自分につながってくるのかもしれない。」／P 236 L 6「本が役に立つかどうか」→「本を読むのに役に立つか立たないか」／P 236 L 6「あなたの今の文脈に」→「本の内容が今の自分の文脈に」／P 236 L 7「くらい遠いかもしれない」→削除。／P 236 L 8「だが」→削除。／P 236 L 8「他者は自分と違う人間だが」→「本を読んで得た知識もそうだ。今は自分と関係がないように思えたとしても、意外なところでつながりが見つかることがある。このような予想外に生まれるつながりは、自分と全く異なる存在である他者が」／P 236 L 9「自分が影響を」→「自分が他者に影響を」／P 236 L 11, 12「あなた」(2か所)→「自分」								
17	交差点を渡る人波	写真						アフロ 21370168
18	本を取ろうとしている女子高校生	写真						アフロ 30793638

19	(顔) 三宅香帆	写真						朝日新聞社 P240607000462
21	「論理の力を鍛えよう」 イラスト1	イラスト						大塚砂織
22	「論理の力を鍛えよう」 イラスト2	イラスト						大塚砂織
23	原爆ドーム	写真						アマナ 02616003482
24	少女たちの「ひろしま」	国語教材	『昭和二十年夏、女たちの戦争』	13	梯久美子	角川書店	2010	(下欄参照)
<p>原典P13L9～P19L16を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／題名「近藤富枝」→「少女たちの「ひろしま」」／小見出しP13L9「写真集『ひろしま』の衝撃」、P16L4「死の瞬間まで営まれていた日常」、P18L7「もんぺの下にこっそりと」→削除し、1行あきに。／P18L12「(求龍堂)」→削除。／P18L13「(京都造形芸術大学の林洋子氏による)」→削除。／P19L2「(林洋子「石内都《Mother's》《ひろしま》—『肉親の喪失』という影より)」→削除。</p>								
25	#43 ピンクの小花柄	写真						石内都 (The third Gallery Aya)
25	#9 ジョーゼット	写真						石内都 (The third Gallery Aya)
25	#69 水玉模様	写真						石内都 (The third Gallery Aya)
27	#7 赤とブルー	写真						石内都 (The third Gallery Aya)
27	#15 着物地	写真						石内都 (The third Gallery Aya)
31	もんぺ	イラスト						杉本一文
32	被爆後の広島市	写真						時事通信フォト 0000919535
32	(顔) 梯久美子	写真						梯久美子
34	「ふしぎ」ということ	国語教材	『物語とふしぎ』	3	河合隼雄	岩波書店	1996	(下欄参照)

	原典P3L2～P11L3を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／題名「ふしぎと人生」→「『ふしぎ』ということ」／小見出しは全て削除した。／P3L8～P4L10「電車に乗っていると…」の一文から「これらは必ず」の一文まで→削除。／P5L1「最後は『万有引力の法則』など」→「最後は万有引力の法則など」（以下、同様にかぎ括弧は適宜外した。）／P5L12～P6L6「こんな人はどうだろう。」の一文から「『ふしぎ』と思ったからには…」の一文まで→削除。／P6L11「飛行機は…人間はどうなるの、などと」→「『飛行機は…人間はどうなるの。』などと」／P6L14～P7L6「六歳の…」の一文から「日常の『あたりまえ』…」の一文まで→削除。／P8L3～L6「『お母さん、せみはなぜミンミン鳴いてばかりいるの。』…考えたのだろうか。」→改行をやめて、1段落とした。／P10L10～L11「普遍的な話（つまり、物理学の法則）を」→「普遍的な話、つまり物理学の法則を」／P11L4「ところで、すでに述べた」以下を削除。							
35	ニュートン	写真						サイネットフォト PHT110192470
38	太陽神ヘリオス	写真						サイネットフォト IBR111667473
40	(顔) 河合隼雄	写真						時事通信フォト 0000741316
46	「18歳成人 改正民法成立」	写真	『読売新聞』2018年6月13日 夕刊				2018	読売新聞社
47	18歳と20歳	イラスト						AOI
48	「成年年齢の引き下げに向けた環境整備の取り組み」	国語教材	内閣府「成年年齢の引下げに関する世論調査」（2018年12月調査）				2019	内閣府 https://survey.gov-online.go.jp/h30/h30-seinen/index.html
49	さまざまな人々	イラスト						AOI
52	話し合い	イラスト						AOI
53	PCのキーボードを打つ	写真						アマナ ALME4JYJ6
54	学ぶことと人間の知恵	国語教材	『学問の発見』	51	広中平祐	講談社ブルー ボックス	2018	(下欄参照)
	原典P51L10～P58L5を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／P51L11～P51L12「一つは…実は、」→削除。／P52L8「忘れられなかったら」→「忘れられなかったりしたら」／P52L14「どこかへやってしまう。」→「どこかへやったりしてしまう」／P53L3「学ぶことの中には知恵という、目に見えないが生きていく上に非常に」→「学ぶことの中では知恵という、目に見えないが生きていく上で非常に」／P56L15「私は、」→削除。／P56L16「、と前にいった」→削除。／P57L14「不連続のもの」→「不連続なもの」							
61	勉強机と筆記用具	写真						アマナ 10131430261
62	(顔) 広中平祐	写真						朝日新聞社 P120527003352
64	ラップトップ抱えた「石器人」	国語教材	『朝日新聞』2003年4月27日		長谷川眞 理子	朝日新聞社	2003	(下欄参照)
	「時流自論」欄の全文を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／1段L1「99年」→「一九九九年」／1段L7「東京電力							

	その他の」→削除。／1段L12「東京電力は4月15日に原発17基をすべて停止させ、安全確認と補修点検の作業に追われている。」→削除。／2段L9「92年」→「一九九二年」／3段L3「微量な放射能」→「微量の放射能」／7段L8「何人いるだろうか?」→「何人いるだろうか。」／7段L33「石器人」→「石器人」							
65	スペースシャトル「アトランティス」	写真						読売新聞社
69	(顔) 長谷川真理子	写真						長谷川真理子
73	絵を描くイメージ	写真						アマ ALMBEHMJG
74	思考の肺活量	国語教材	『哲学の使い方』	63	鷲田清一	岩波新書	2014	(下欄参照)
	原典P63L12～P68L5を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／P65L10「——これを背後から支える《価値の遠近法》が哲学である——」→削除。／P65L13「病院で」→「病院で、」／P68L5「である。」→「なのである。」							
77	「せのひくいおれんじはまんなかあたり」(元永定正筆)	写真						中辻悦子
79	(顔) 鷲田清一	写真						鷲田清一
81	安心について	国語教材	『スヌーピーたちのアメリカ』	73	廣淵升彦	新潮社	1993	(下欄参照)
	原典P73L110～P78L18を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／小見出しは全て削除した。／P73L7～L9「安心という…名作を紹介しよう。」→削除。／P74L5「車でうちへ帰るところさ」→「車でうちに帰るところさ」／P75L9「絶対にできない」のルビ「アブソリュートリー・ネヴァー」→削除。／P76L9「終わるころ」→「終えるころ」／P78L9「よくしてくれるお嫁さん」→「家族」／P78L11「子供たちが」→削除。							
82	スヌーピー	イラスト						ソニー・クリエイティブプロダクツ
83	ピーナッツ(漫画)	イラスト						ソニー・クリエイティブプロダクツ
88	(顔) 廣淵升彦	写真						朝日新聞社 P111019236741
90	「言葉にするとき、しな いとき」イラスト	イラスト						柳智之
91	仮説	イラスト						A0I
92	「学校読書調査」の結果	国語教材	全国学校図書館協議会「第65回学校読書調査」				2019	全国学校図書館協議会 https://www.j-sla.or.jp/material/research/dokusyotyousa.html

94	青少年のインターネット利用状況	国語教材	内閣府「令和元年度 青少年のインターネット利用環境実態調査 調査結果（概要）」				2020	内閣府 https://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/chousa/r01/net-jittai/pdf/kekka_gaiyo.pdf
95	インターネット利用率	国語教材	内閣府「令和元年度 青少年のインターネット利用環境実態調査 調査結果（概要）」				2020	内閣府 https://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/chousa/r01/net-jittai/pdf/kekka_gaiyo.pdf
96	青少年のスマートフォンの所有・利用状況	国語教材	内閣府「平成29年度 青少年のインターネット利用環境実態調査 調査結果（概要）」				2018	内閣府 https://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/chousa/h29/net-jittai/pdf/kekka_gaiyo.pdf
98	読書とスマートフォン	イラスト						AOI
99	ロイヤル島のヘラジカ	写真						Getty 523649758
100	弱肉強食は自然の摂理か	国語教材	『〈正義〉の生物学』	122	山田俊弘	講談社	2020	(下欄参照)

	<p>原典P122L1～P130L3を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／P122L1題名「弱肉強食は自然の摂理か？」→「弱肉強食は自然の摂理か」／P122L2～P123L1→削除。／P123L2「このように、」→削除。／P123L5「本書では」→削除。／P123L9「第2章で見たとおり、ヒトの戦闘能力がほかの生き物よりずっと高いことは自明です。」→削除。／P124L1「本節では〈弱肉強食論〉の正当性について考察します。」→削除。／P124L2～L9→削除。／P124L10「漢詩に詠まれたように、」→削除。／P125L12「目の前の敵を攻撃する力（ひっかく力や噛む力）」→「ひっかく力やかむ力といった、目の前の敵を攻撃する力」／P125L16「（速い）」→削除。／P126L2「次項で」→「これから」／P126L3小見出し「生物学が採用する『強さ』」→削除。／P126L5～L11「食う者（種）」「食われる者（種）」（各3か所）→「食う者」「食われる者」／P126L6「ある種（集団）がもう一方の種（集団）に」→「ある種の集団がもう一方の種の集団に」／P126L14「減らしているしている」→「減らしている」／P126L16～P127L15「しかし、……変動するのです。」→改行をやめて、1段落とした。／P127L16「二つの生物集団（捕食者と被食者）は」→「捕食者と被食者の二つの生物集団は、」／P128L1～L3「オオヤマネコ（捕食者）とカンジキウサギ（被食者）……オオカミ（捕食者）とヘラジカ（被食者）」→「オオヤマネコとカンジキウサギ……オオカミとヘラジカ」／P128L7「ライオンとシマウマあるいは」→「ライオンとシマウマ、あるいは」／P128L11小見出し「捕食者と被食者の共存実験」→削除。／P128L12「カール・ハフェーカー（アメリカの生態学者）」→「アメリカの生態学者カール・ハフェーカー」／P128L15～P129L9「レモン」（4か所）→「オレンジ」／P129L7「速くほかの（少し離れた場所の）」→「速く、ほかの少し離れた場所の」／P129L10「（個体数を増やし）」→削除。／P129L12「（一部は逃げる）」→削除。／P129L14「コウノシロハダニの移動を助けたり、コウノシロハダニだけが通れる通路でレモンをつないだりすれば」→「カブリダニの移動を妨げたり、棒を用いてコウノシロハダニの移動を助けたりすると」</p>							
103	ライオンとシマウマ	写真						アマ ALM2BEY5TX
106	オオヤマネコとカンジキウサギ	写真						アマ 32239000010
108	ハフェーカーの実験結果	グラフ	“HILGARDIA” Vol. 27, August 1958, No. 14	370	C. B. Huffaker	California Agricultural Experiment Station	1958	
109	(顔) 山田俊弘	写真						山田俊弘
111	複数の「わたし」	国語教材	『はみだしの人類学』	72	松村圭一郎	NHK出版	2020	
	<p>原典P72L12～P78L4を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／P73L8「バイト先」→「アルバイト先」／P74L6「アイデンティティ」→「アイデンティティー」／P74L10「（一九七五～）」→削除。／P74L13「だと、本書の内容とも通じる」→「だという」／P74L14「（『私とは何か 「個人」から「分人」へ』）」→削除。／P75L3小見出し「文化人類学の『分人』」→削除。／P75L4「（一九四一～）」→削除。／P75L11「が隠蔽されている」→「に目を向けてこなかった」／P76L2「男性とブタを育てる女性」→「男性と、ブタを育てる女性」／P76L3「男性とブタを与えた男性」→「男性と、ブタを与えた男性」／P76L6「ちょっと込み入っていますが、この本でお伝えしたい『つながり』をベースに人間を考える視点と共通したとらえ方です。」→削除。</p>							
114	ハーゲン高地の儀式	写真						アマ ALMJ2F38X
116	(顔) 松村圭一郎	写真						朝日新聞社 P171020000886
118	『学びとは何か』	写真						岩波書店

118	『うしろめたさの人類学』	写真						ミシマ社
118	『それでも、日本人は「戦争」を選んだ』	写真						新潮社
118	『生物と無生物のあいだ』	写真						講談社
118	『銀河の片隅で科学夜話』	写真						朝日出版社
118	『ちいさい言語学者の冒険』	写真						岩波書店
118	『記号論への招待』	写真						岩波書店
118	『「ふつうの暮らし」を美学する』	写真						光文社
118	『日本の思想』	写真						岩波書店
119	旋盤工として働く小関智弘氏	写真						小関智弘
120	はじめに「言葉」がある	国語教材	『言葉の服』	12	堀畑裕之	トランスビュー	2019	(下欄参照)
	<p>原典P12～P18を採録し、指導上の配慮により、文中の1行あきを詰めたほか、以下の修正を行った。／P12L2「matohu(まとう)という服飾ブランドを、」→「服飾ブランドを創設し、」／P12L3「創立し、以来東京コレクションなどで毎年二回新作を」→「創立して以来、東京コレクションなどで毎年二回、新作を」／P12L4「これだけなら」→「これだけなら、」／P12L10「なるのか? 漠然とした」→「なるのか、漠然とした」／P14L11「東北の農家」→「昔の農家」／P14L13「朝鮮のポジャギ」→「朝鮮半島のポジャギ」／P15L15「駅を降りて」→「駅を出て」／P16L9「味わった」→「味わったりした」／P18L1「アイデア」→「アイディア」／P18L3「ためであり、昔の人が楽しんだ豊かなアイデアを、現代の生活に」→「ためでもある。更に昔の人が楽しんだ豊かなアイディアを、現代の生活にも」</p>							
123	「切継—熨斗目拾遺」 (志村ふくみ作)	写真						滋賀県立美術館
124	ふきよせ	写真						堀畑裕之
126	(顔) 堀畑裕之	写真						Martin Holtkamp
128	楽に働くこと、楽しく働くこと	国語教材	『17歳のための読書案内』	184	小関智弘	筑摩書房	2007	(下欄参照)
	<p>原典P184～P187を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／P185L12「気づばりをしないで済む」→「気づばりをしたりしないで済む」</p>							
132	(顔) 小関智弘	写真						時事通信フォト 0004914043
134	情景のなかの労働	国語教材	『情景のなかの労働』	25	内山節	有斐閣	1988	(下欄参照)

	原典P25L2～P32L1を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／P25L9～P26L7「なぜこれほど…美しく輝いていた。」→削除。／P26L11～12「しかしその日の私は…思っていたはなかった。」→削除。／P26L12と13→改行せずにつなげる。／P26L13～P27L1「私はいつも気ままな…一月になっていった。」→削除。／P27L7～P29L8「上野村のような…が含まれている。」→削除。／P30L2～L6「村の老人たちは…いるのではないのである。」→削除。／P30L15～P31L3「日々の生活のなかで…明確に区別する。」→削除。							
136	群馬南部参考地図	図版						エイブルデザイン
137	鉄、千年のいのち	国語教材	『鉄、千年のいのち』	193	白鷹幸伯	草思社	1997	(下欄参照)
	原典P193L13～P196L9を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／小見出しは全て削除した。／P194L9「、三Kの一つに属する」→削除。							
139	地図を作る	国語教材	『街と山のあいだ』	34	若菜晃子	アノニマ・スタジオ	2017	(下欄参照)
	原典P34～P41を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／P34L6「のひとつ」→削除。／P35L4「手作業で作って」→「手作業で版下を作って」／P35L11～P36L4「担当者は…版下になった。」→削除。／P38L9「グーグルマップ」→「デジタル」／P38L11「グーグル」→「デジタルの地図」／P39L1「ようすは」→「様子が」／P40L6～P40L11「勤めていた頃…ほれほれするほどだった。」→削除。							
141	2万5千分の1地形図「志々伎」	図版						国土地理院
145	(顔) 若菜晃子	写真						朝日新聞社 P171108000372
147	「住宅地図」はこう作られる	国語教材	『kotoba』2015年秋号	50	小林資子	集英社	2015	(下欄参照)
	原典P50～P53を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／小見出しと行間は全て削除した。／P50上段L9～P51中段L3「これを発行…更新している。」→削除。／P51中段L3～L4「全国にわたるこうした調査は、いったいどのように行われているのだろう。」→「その詳細な情報は、いったいどのようにして集められているのだろう。」とし、P50上段L8と改行せずにつなげる。／P51中段L13～P51下段L6「調査を行う…弁当を持参する。」→削除。／P51下段L25～P52上段L22「「調査ルート…という意味だ。」→削除。／P52上段L24「くらい」→削除。／P52中段L4～P52下段L20「「暑い日は…使用されている。」→削除。／P53上段L7～P53中段L11「住宅地図の…ことだったという。」→削除。／P53中段L15・21「ゼンリンの」→削除。／P53中段L16「グーグルマップやヤフー地図など」→「例えば」／P53中段L23「ゼンリン」→「住宅地図」／P53中段L25～P53下段L7「カーナビへの…サービスである。」→削除。／P53下段L16「ゼンリンの」→削除。／P53下段L24「住宅地図の底力を痛感せずにはいられない。」→削除。							
159	「つなげる力」イラスト	イラスト						大塚砂織
163	「論証する力」イラスト	イラスト						大塚砂織
165	「要約する力」イラスト1	イラスト						大塚砂織

167	「要約する力」イラスト2	イラスト						大塚砂織
172	「質問する力」イラスト	イラスト						大塚砂織
173	飛び込むペンギン	写真						アマ 22963000167
174	最初のペンギン	国語教材	『脳と創造性』	73	茂木健一郎	PHP研究所	2005	(下欄参照)
	原典P73L5～P78L8を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／P74L3「それに、コントロール可能性は単なるフィクションにすぎない。」→削除。／P77L4小見出し「■未知のものへのジャンプ」を削除し、本文を1行あきに。							
176	オットセイ	写真						アマ 32251000007
176	トド	写真						アマ 32057000079
176	シャチ	写真						アマ 32226000760
177	ペンギン	写真						アマ 32258001148
179	ライト兄弟	写真						サイネットフォト GRA110004500
180	(顔) 茂木健一郎	写真						朝日新聞社 P100528000050
182	豊かさとは生物多様性	国語教材	『生物学的文明論』	64	本川達雄	新潮新書	2011	(下欄参照)
	原典P64L6～P69を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／P64L6～14「そもそもお金というものは…思うようになりがちです。」→L4の前の改行を削除し、前行につなげて、L12「質を量に変換するのが貨幣経済。」を削除し、P65L4とL5の間に移動。／P65L1「かけがえのなさは、お金では評価できないのですね。」→「ね」を削除し、L4「…出てこないでしょう。」の後に移動。／P65L5「生物多様性という言葉には、『多い』という形容詞が入っていますから、」→「生物多様性という言葉にも、『多』という文字が入っていますから、」／P66L7「生態系がなくなったら、」→「生態系がなくなったら」／P66L9「そのつながりそのものも、自分だ」→「そのつながりそのものも自分だ、」／P66L11小見出し「生物多様性と南北問題」→削除。／P66L13「今の世界の矛盾」→「今の世界の問題」／P66L14「ここに象徴的に出ている問題だからです。」→「ここに象徴的に出ているからです。」／P66L15「矛盾の第一」→「その一つ」／P67L1「つまり南の貧しい国です。」→「つまり南の発展途上の国に多くあります。」／P67L6「南の国にお金を支払ってまでも、」→「、南の国にお金を支払ってまでも」／P67L13「承認」→「批准」／P68L1小見出し「豊かさの転換」→削除。／P68L4「私は思うのですね。」→「私は思うのです。」／P68L10「やすいのですね。」→「やすいのです。」／P69L1「即、貧乏とは、私は必ずしも思いません。」の後で改行。／P69L1「ここで、サンゴ礁のことを思い出して下さい。」→削除。／P69L2「熱帯の貧栄養の海、つまり…サンゴ礁は変えていきました。」→「例えばサンゴ礁は、熱帯の貧栄養の海、つまり貧乏な海を、多様な生物にあふれた豊かな海に変えます。」／P69L4「サンゴ礁。」→「サンゴ礁なのです。」／P69L7「みじめと感じなくても」→「みじめだと感じなくても」							
187	褐虫藻	写真						ア70 EFPA002979
187	サンゴ (ポリプ)	写真						沖縄科学技術大学院大学
188	(顔) 本川達雄	写真						朝日新聞社 P111118000100
190	「『真の価値』を求めて」イラスト	イラスト						柳智之

191	平和祈念像	写真						77p 259569099
192	もどかしいまを口にす る	国語教材	『句点。に気をつけろ』	56	尹雄大	光文社	2024	(下欄参照)
<p>原典P56～P63を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。その際、文章表現を例のように改めた。(例：P56L1「いろんな」→「いろいろな」／P56L6「なるんだろう。」→「なるのだろう。」) そのほかの修正は以下のとおり。／P56L7「饒舌」→「流暢」／P57L1「できたりしたところに、アスファルトが敷かれ」→「できたりする所だったのに、アスファルトが敷かれて」／P57L5「できあがった」→「できあがったものなのだと」／P57L9「でこぼこして」→「凸凹していて」／P57L10「どう進んでいいの。手をつけていいの」→「どう進めばいいの、何から手を付ければいいの」／P58L2「雑草とか石とかがあったら迂回したり」→「雑草や石があったら迂回」／P58L8「分かりやすさで」→「分かりやすさのことで」／P58L12「饒舌さ」→「彼らの話しぶり」／P58L13「必要はないし、」→「必要はない。」／P58L14「botみたいな話し方になっている。」→「botのような話し方をしているのだから。」／P59L4「悪いではなく」→「悪いとかではなく」／P59L6「話をされていた」→「話をする」／P59L16～P60L2→改行せずにつなげる。／P60L7「表せる」→「表すこともできる」／P60L10「戦争も途中から」→「戦時中に」／P60L12「同席した」→「インタビューに同席した」／P61L5～L6→改行せずにつなげる。／P61L11「山口さんは記憶が」→「山口さんの記憶は」／P61L13～L14→改行せずにつなげる。／P62L9「模様を話した」→「際の話をしてくれた」／P63L8「の整然とした」→「のような整然とした」／P63L8「それは物事を」→「それはその人が、物事を」／P63L9「その間に山口さんが」→「その間で」</p>								
196	山口彊	写真						Getty 546711202
201	(顔) 尹雄大	写真						尹雄大
203	カフェの开店準備	国語教材	『屋上への誘惑』	11	小池昌代	岩波書店	2001	(下欄参照)
<p>原典P11～P17を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／P12L6「まるでしたことの一切が」→「したことの一切が」</p>								
203	「カフェの开店準備」イラスト1	イラスト						朝倉めぐみ
204	「カフェの开店準備」イラスト2	イラスト						朝倉めぐみ
207	「カフェの开店準備」イラスト3	イラスト						朝倉めぐみ
208	「カフェの开店準備」イラスト4	イラスト						朝倉めぐみ
208	(顔) 小池昌代	写真						時事通信Foto 05326447
213	短い論文	イラスト						A01
214	エコロジカル・フットプリントと三つのシナリオ	国語教材	『生物多様性』	24	長谷川明子	技報堂出版	2010	(下欄参照)
<p>原典P24L4～P26を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／P25L12「持続できません。」→「地球環境を持続できません。」</p>								

214	1人当たりのエコロジカル・フットプリント	図						技報堂出版
215	持続可能な世界へのシナリオ	図						技報堂出版
214	地球の生産力を超えた人間の消費——地球一・六個分	国語教材	WWF「生きている地球レポート2020」					WWF https://www.wwf.or.jp/activities/data/lpr20_01.pdf
215	世界のエコロジカル・フットプリント推移	図						WWF (同上)
216	文章を書く生徒	イラスト						AOI
219	東京駅AIロボ	イラスト						朝日新聞社 P190528000500
220	科学的「発見」とは	国語教材	『フェミニズムと科学／技術』	1	小川眞里子	岩波書店	2001	(下欄参照)
	<p>原典P1～P13L2を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／題名の「序」→削除／P1L1～P2L3「フェミニズムと…期待したい。」→削除／P2L9～11「それは本書の…準備ともなるであろう。」→削除／P2L13「(次章でもう少し詳しく述べる)」→削除／P2L14、P4L5「図序-1」、P4L10→「図1」／P4L5、P4L10「図序-2」→「図-2」／P4L14～15「ハンソンの本には…例なども登場する。」→削除／P6L1「私たちの観察は、…」の前を1行空ける。／P6L12「図序-3」→「図-3」／P7L5～P10L15「経験といっても…理解していただけるだろう。」→削除／P11「図序-5」→削除／P12L1「、そしてそれに関連したガリレオの観測」→削除／P12L9「高校を終えたばかりの素直な」→削除／P12L11～L12「またガリレオはなんて偉いんだろうと。」→削除／P12L14「, decouvrir, entdeckenいずれも」→削除／P13L2「理解し始める。」→「理解し始めるのである。」</p>							
225	図3	写真			Gunnar Johansson			
227	(顔) 小川眞里子	写真						小川眞里子
229	ロボットが隣人になるとき	国語教材	書き下ろし		野矢茂樹			
229	「ロボットが隣人になるとき」イラスト1	イラスト						小倉正巳
232	「ロボットが隣人になるとき」イラスト2	イラスト						小倉正巳
235	「ロボットが隣人になるとき」イラスト3	イラスト						小倉正巳
236	「ロボットが隣人になるとき」イラスト4	イラスト						小倉正巳

236	(顔) 野矢茂樹	写真						野矢茂樹
241	羊の群れ	写真						アマ ALM2A856E7
242	言葉は「ものの名前」ではない	国語教材	『寝ながら学べる構造主義』	59	内田樹	文春新書	2002	(下欄参照)
<p>原典P59L3～P67L9を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／P59L3「1 ことばは『ものの名前』ではない」→「1」を削除／P59L4～P60L14「マルクス、フロイト、…一つだけにしておきます。」→削除／P63L2～P63L9「(略)もし話という…他ならないのである。」→削除／P63L9～P63L10「.ちなみに本書…書いています。」→削除／P64L11～P65L5「高島俊男は同じこと…(『漢字と日本人』)」→削除／P65L14～P65L15「(valeurはふつう…されています。)」→削除／P66L1「「そら」と「天」や、」→削除</p>								
243	ソシユール	写真						ア70 59401795
245	イトマキエイ	写真						アマ 3222500009
245	タコ	写真						アマ 32121000035
248	(顔) 内田樹	写真						朝日新聞社 P110911082451
250	おいしさの言語化	国語教材	『「美味しい」とは何か』	134	源河亨	中央公論新社	2022	(下欄参照)
<p>原典P134L9～P143L15を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／小見出しと行間は全て削除した。／P134L12 段落末尾に「そんなとき、食の経験にとって言葉は役に立たないと思われるかもしれない。」を追加。／P135L10～P136L1「これとは別に…思われるだろう。」→削除。／P136L2「以上の」→「この」／P136L3「また、鑑賞された」→「また、語彙力を自慢するかのような評論家ぶった表現を使ったレビューを見ると、鑑賞された」／P136L4「ようなレビューもあるだろう。そういった例をみると」→「ように思えてくる。こうした点を踏まえると」／P136L5「思えてくる。」→「思えてくるかもしれない。だが、果たして本当にそうだろうか。」／P136L6～L10「これに対し…みえてくるだろう。」→削除。／P136L12行頭に「まず、食の経験にとって言葉は役に立たないという主張について考えてみよう。」を追加。／P137L3「こうした例からわかる」→「この」／P137L4「いろんな」→「いろいろな」／P137L6～L9「もちろん…異なっているだろう。」→削除。／P137L10「以上」→「ここ」／P137L14「そうした場面に出くわすと」→「そんなとき」／P138L1「幅がない(特定のものを指す)」→「特定のものだけに当てはまる」／P138L4～L5「「#191970」…細かいものだ。」→削除。／P138L6「そうした」→「そのような」／P138L8～L10「(砂糖や塩の…ともかく)→この前に句点を追加し、削除。／P138L15→改行せずにつなげる。／P138L16～P139L1「第1章で…使えるはずだ。」→削除。／P139L2「ものである。」→「ほかの感覚の言葉を使うこともできる。」／P139L3～L4「(以上のような…各論文を参照)」→削除。／P139L7「こういった人々」→「これら」／P139L7「重要になってくる。」の後で改行。／P139L8「説明しよう」→「考えてみよう」／P139L8～L9「さらにそこから…明らかにしたい。」→削除。／P139L12 改行せず小見出しの前の文とつなげる。／P140L2～L10「こうした情報…判断できるのだ。」→削除。／P140L11～L14「以上のように…増やすことである。」→P141L5の後に移動。／P140L15～P141L2「こうした目的は…と判断できる。」→削除。／P141L2「同様に」→「また」としてP140L2「と知ることができる。」と改行せずにつなげる。／P141L6「言葉の目的は体験の代わりとなることではない」→「言葉が体験の代わりとなるわけではない」／P141L7～L8「(sibley…というように)→この前に句点を追加し、削除。／P141L9「としよう。」→「としても、」／P141L11「というのも言葉の」→「というのも、ここでの言葉の」／P141L11「どうかを決める」→「どうか、つまり行動を決める」／P141L12「そして、その役割は先ほどの長い表現で」→「その役割は言葉による説明で」／P141L13「言葉の目的を理解していない」→削除。／P142L2「もらえるだけ」→「もらえることだけ」／P142L10～L12「さらに、…曖昧にな</p>								

	ってくる。」→削除。／P143L1～L3「(福島…記載されている)」→削除。／P143L5「(鹿取…二八頁)」→削除。／P143L13「理解できない。」→後ろに「言語化を諦めると、食の経験も乏しいものになるのだ。」を追加。						
257	(顔) 源河亨	写真					源河亨
260	A 分類群別に見た世界の絶滅のおそれのある動物種数／B 種の絶滅速度	図					秀巧堂クリエイト
261	メディアと図表	イラスト					A0I
262	C 絶滅危惧種の減少要因	図					秀巧堂クリエイト
263	収集・読み取り・熟考・表現	イラスト					A0I
264	持続可能な開発目標	イラスト					A0I
265	持続可能な開発目標(SDGs)の詳細	国語教材	外務省「持続可能な開発目標(SDGs)と日本の取組」				外務省 https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf
266	運輸部門における二酸化炭素排出量	国語教材	国土交通省「運輸部門における二酸化炭素排出量」			2020	国土交通省 https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/environment/sosei_environment_tk_000007.html
266	生徒1	イラスト					A0I
267	日本の次世代自動車の普及目標と現状	国語教材	国土交通省・経済産業省「EV/PHV普及の現状について」			2018	経済産業省 https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/shoene_shine/sho_energy/jidosha_handan/pdf/2018_007_01_00.pdf
267	生徒2・3	イラスト					A0I
271	図書室の本棚	写真					アマナ 10131042947
272	知識における作者性と構造化	国語教材	『知的創造の条件』	119		2020	筑摩書房

	<p>原典P119L7～P125L10を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／P119L7「2 知識における作者性と構造的性」→「2」を削除し、題名とした。／P119L8～L11→削除。／P119L12「一方で、グーグル検索等によるネット上の莫大な情報へのアクセシビリティの」→「検索システム等によるインターネット上の莫大な情報へのアクセシビリティの」／P119L14「ネット情報をコピーしてレポートを作成する学生や」→「学生がネット情報をコピーしてレポートを作成するケースや」／P120L7「主張する人もいます。」の後で改行。／P120L9「違いがあります。」の後で改行。／P120L11「発展してきたわけで、だからこそオーファン（孤児）著作物の処理が問題になるわけです。つまり、」→「発展してきました。」／P120L16「Wikipediaに象徴されるように」→「利用者が編集できる百科事典のサイトに見られるように」／P122L9「インターネット検索の」→「ネット検索の」／P124L12～P125L1「コンピュータ」（2か所）→「コンピューター」</p>							
274	コペルニクス像	写真						アマ ALMH3EP9N
279	(顔) 吉見俊哉	写真						朝日新聞社 P160205000886
281	アルゴリズムと偶然性	国語教材	『SNSの哲学』	88	戸谷洋志	創元社	2023	(下欄参照)
	<p>原典P88L7～P97L16を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／題名を「アルゴリズムと偶然性」とした。／小見出しと行間は全て削除した。／P88L14～P89L2「Twitter上では…つぶやくので」→「多くの人がそれについてSNSで発信するので」／P89L6「Twitterの」→削除。／P90L5～10「もちろん…購読するのです。」→削除。／P92L9～P93L9「書店を気まま…否めません。」→削除。／P93L11「Amazon」→「通販サイト」／P94L14～P95L4「たとえば…存在しません。」→削除。／P95L7～L10「ある日…出会わなかったでしょう。」→削除。／P96L3「、たまたまバーでお酒を飲んでいたら隣にいた」→削除。</p>							
286	公園	イラスト						AOI
288	(顔) 戸谷洋志	写真						戸谷洋志
290	『新・冒険論』	写真						集英社インターナショナル
290	『働きたくないイタチと言葉がわかるロボット』	写真						朝日出版社
290	『コミュニティデザインの時代』	写真						中央公論新社
290	『ロボットと人間』	写真						岩波書店
290	『ためらいの倫理学』	写真						KADOKAWA
290	『リスクの正体』	写真						岩波書店
290	『生きることは頼ること』	写真						講談社
290	『〈私〉時代のデモクラシー』	写真						岩波書店
290	『沈黙の春』	写真						新潮社
291	大阪万博会場内と太陽の塔	写真						時事通信フォト 0010765677

292	ホンモノのおカネの作り方	国語教材	『ヴェニス商人の資本論』	119	岩井克人	筑摩書房	1992	(下欄参照)
原典P119～P124を採録した。								
293	慶長丁銀・天保一分銀・文政真文二分金・慶長小判	写真						日本銀行金融研究所 貨幣博物館
295	江戸時代の預かり手形	写真						伊勢市教育委員会
299	(顔)岩井克人	写真						岩井克人
301	未来のありか	国語教材	『未来の社会学』	47	若林幹夫	河出書房新社	2014	(下欄参照)
<p>原典P47L4～P57を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／P47L4小見出し「共有される未来」を追加。／P47L5「私たちが生き、考え、感じ、行動する」→削除。／P48L17小見出し「未来の事物の物質化」→「万国博が示した未来社会」／P49L8～10「——当時数多く刊行された万博関連書籍のなかの一冊である——」→削除。／P49L13「毎日テレビで」→「テレビで毎日」／P49L13「NHKの」→削除。／P49L14「『万国博と結ぶ』」→「 」を『 』に変更。／P50L3「(図1-4)」→削除。／p50L9～11「——むろん、その当時の…知るよしもなかったのだが——」→削除。／P50L16～18「そこで利用されると想像されていた…他方また、」→削除。／P51L17～P53L12「小見出し『意識・言説・物質』…『集合的期待』なのである。」→削除。／P53L13小見出し「『未来らしさ』」→「未来らしさを支えるもの」／P53L14「先に私は…しないかもしれないので、」→削除。／P53L14「もっと」→「『もっと』」／P53L16「三〇年以上前」→「四十年以上前」／P54L2～3「このことについては…触れておこう。」→削除。／P55L6～11「他方、一定以上の…変化するのだ。」→削除。／P55L18「『少なくとも現代の私たちにとって』と何度もことわっているように、」→削除。／P56L3「このことが、本書の後半で考える重要な主題となる。」→削除。／P56L4小見出し「時間、未来の時間、未来の事物」→「未来のありか」／P56L5「以下の考察をまとめよう。」→削除。／P56L8～11「世界のなかに…産出する。つまり、」→削除。／P56L18「にある。」→「にあるのである。」／P56L18～P57L3「だが、そのようにして…考察してみることにしよう。」→削除。</p>								
304	小学生のための日本万国博 特集号	写真						学研
304	人間洗濯機	写真						学研
305	万能テレビ	写真						学研
310	(顔)若林幹夫	写真						若林幹夫
312	やさしい日本語(日本人に分かりやすい文章・外国人にも分かりやすい文章)	国語教材	「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」		出入国在留管理庁・文化庁		2020	(下欄参照)

	原典 P7～P10を採録し、指導上の配慮により、以下の修正を行った。／P7「ステップ1」→削除。／P7「ポイント 情報を整理する」→「ポイント3 情報を整理する」とし、掲載位置を変更（「外来語に気をつける」の後）。／P7「ポイント 文をわかりやすくする(1)」→「ポイント1 文をわかりやすくする(1)」／P7「ポイント 外来語に気をつける」→「ポイント2 外来語に気をつける」／P8「『「外来語」言い換え提案』の活用」の項目を削除。／P8「13～14ページに変換例を記載」→削除。／P9「ステップ2」→削除。／P9「ポイント 文をわかりやすくする(2)」→「ポイント4 文をわかりやすくする(2)」／P9「ポイント 言葉に気をつける」→「ポイント5 言葉に気をつける(2)」／P9「13～14ページに変換例を記載」→削除。／P10「ポイント 表記に気をつける」→「ポイント6 表記に気をつける」／P10「ふりがなの大きさ、漢字とふりがな、行と行の間を空けるなどして、見やすくします。」→「ふりがなの大きさ、行と行の間隔などに気をつけて、見やすくします。」／P10「ステップ3 わかりやすさの確認」の項目を削除。						
328	面接	イラスト					A0I
⑤	白鷹幸伯氏・和釘・丸棒・切り出し・発光する和釘	写真					白鷹幸伯
⑤	薬師寺西塔	写真					薬師寺
⑥	住宅地図（サンプル）	図版					ゼンリン
⑥	イワタケ（生息地風景）	写真					アマナ 32056000118
⑥	イワタケ（物）	写真					アマナ 20013021800
⑥	シノブ	写真					アマナ 32056000058
⑥	背負子	写真					水巻町教育委員会

（備考）1 「申請図書」の欄については次のとおりとする。

- ① 「ページ」の欄には、引用又は新たに作成した教材や資料等の申請図書における掲載ページを示す。
- ② 「名称」の欄には、引用した教材や資料等の申請図書における名称を示す。
- ③ 「種別」の欄には、国語教材、楽譜、写真、図、挿絵、表、グラフ、地図などの別を示す。

2 「出典」の欄については次のとおりとする。

- ① 出典が一般図書の場合は、当該図書の名称（版次を含む。）、掲載ページ、著作者・編集者等、発行者及び発行年次を各欄に示す。
- ② 出典が定期刊行物の場合は、発行年次等欄に巻号、発行月日等を示す。
- ③ 出典が図書でない場合には、備考欄に資料提供者や保有者の氏名又は名称、及び当該資料に付された整理番号等を示すなど、出典を確認することが可能な情報を記入する。

3 出典を基に申請図書の発行者が改変を行った場合又は新たに作成を行った場合は、「備考」欄にその旨を示す。

4 （1）写真等については、肖像権等の権利処理を必要に応じて行うこと。

- （2）著作物の掲載に当たっては、著作権法第33条に基づき、掲載する旨を著作者に通知するとともに、補償金を著作権者に支払う必要があることに留意すること（別途契約を締結する場合を除く）。

備考4の内容について確認しました。

ウェブサイトのアドレスの掲載箇所一覧表

申請図書			学習上の参考に供する情報			備考
番号	ページ	種別	参照先	URL	概要	
1	前見返し ③	URL	自社	自社ページURL	コンテンツ一覧	別紙1添付
		二次元コード	自社	同上	同上	
2	8	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙2添付
3	15	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙3添付
4	24	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙4添付
5	34	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙5添付
6	44	二次元コード	自社	自社ページURL	活動のポイント(動画)	別紙6添付
7	54	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙7添付
8	64	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙8添付
9	74	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙9添付
10	81	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙10添付
11	91	二次元コード	自社	自社ページURL	活動のポイント(動画)	別紙11添付

12	100	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙12添付
13	111	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙13添付
14	120	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙14添付
15	128	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙15添付
16	139	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙16添付
17	154	二次元コード	自社	自社ページURL	演習問題(クイズ)	別紙17添付
18	160	二次元コード	自社	自社ページURL	演習問題(クイズ)	別紙18添付
19	164	二次元コード	自社	自社ページURL	演習問題(ワークシート)	別紙19添付
20	168	二次元コード	自社	自社ページURL	演習問題(ワークシート)	別紙20添付
21	174	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙21添付
22	182	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙22添付
23	192	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙23添付
24	203	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙24添付
25	213	二次元コード	自社	自社ページURL	活動のポイント(動画)	別紙25添付
26	220	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙26添付

27	229	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙27添付
28	242	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙28添付
29	250	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙29添付
30	263	二次元コード	自社	自社ページURL	活動のポイント(動画)	別紙30添付
31	272	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙31添付
32	281	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙32添付
33	292	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙33添付
34	301	二次元コード	自社	自社ページURL	漢字と語彙(クイズ)	別紙34添付

35	318	二次元 コード	自社	自社ページURL	マッピング(シミュレーション) 九ますブロック(シミュレーション) 九ますブロック(ワークシート) その他の思考ツール(補足資料) ベン図2(ワークシート) ベン図3(ワークシート) 座標軸(ワークシート) フィッシュボーン図(ワークシート) ピラミッドチャート(ワークシート)	別紙35-1、35-2、35-3 添付
----	-----	------------	----	----------	---	------------------------

番号 1

書名入る

コンテンツ一覧 (PDF)

I 部 >

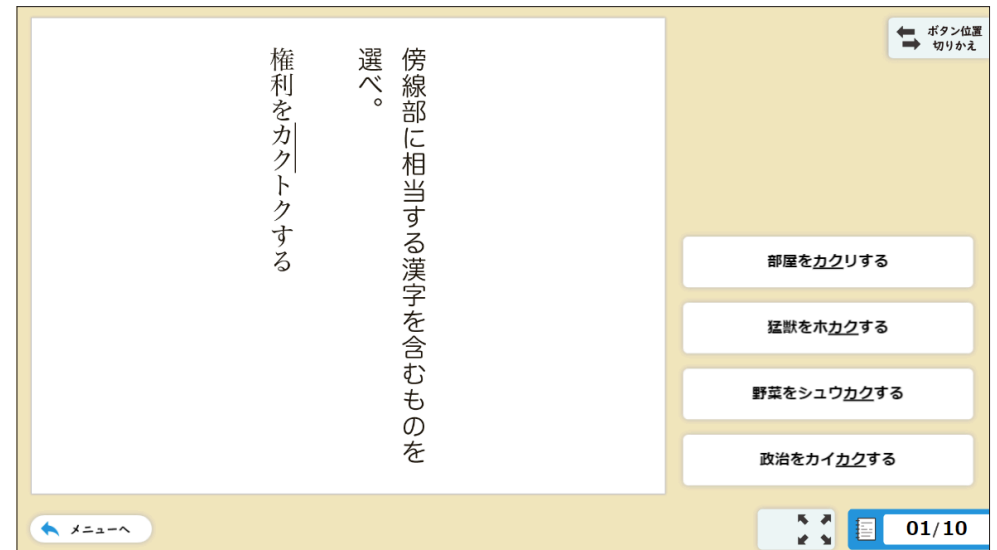
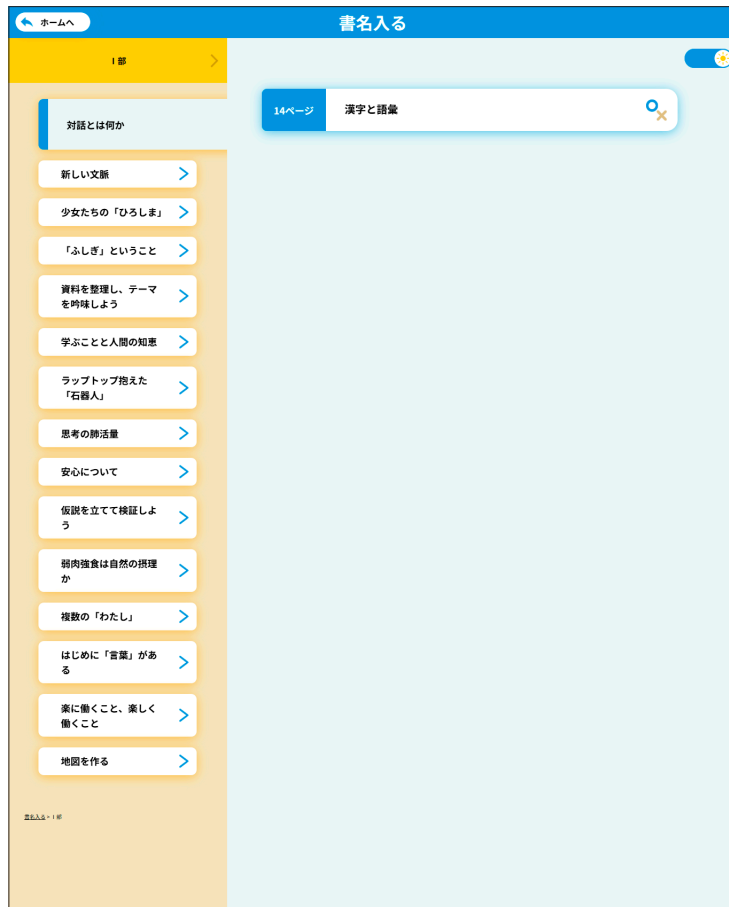
論理の力 >

II 部 >

附録 >

コンテンツ一覧

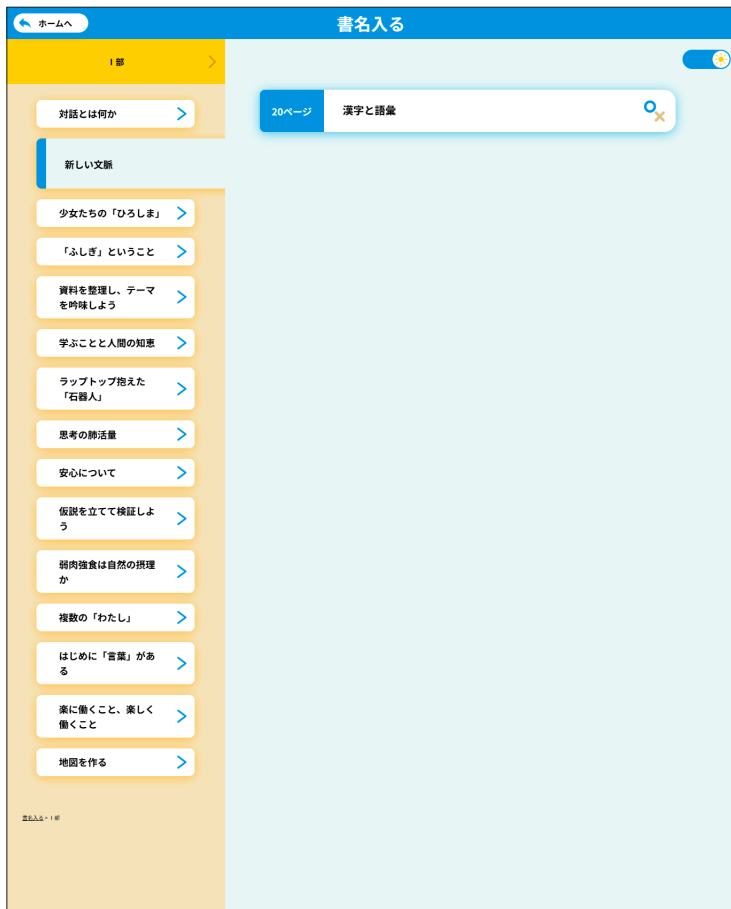
番号 2



14ページ 漢字と語彙 [クイズ]

* 全ての「漢字と語彙 [クイズ]」は同じ仕様であるため、以降のハイライト画面は割愛する。

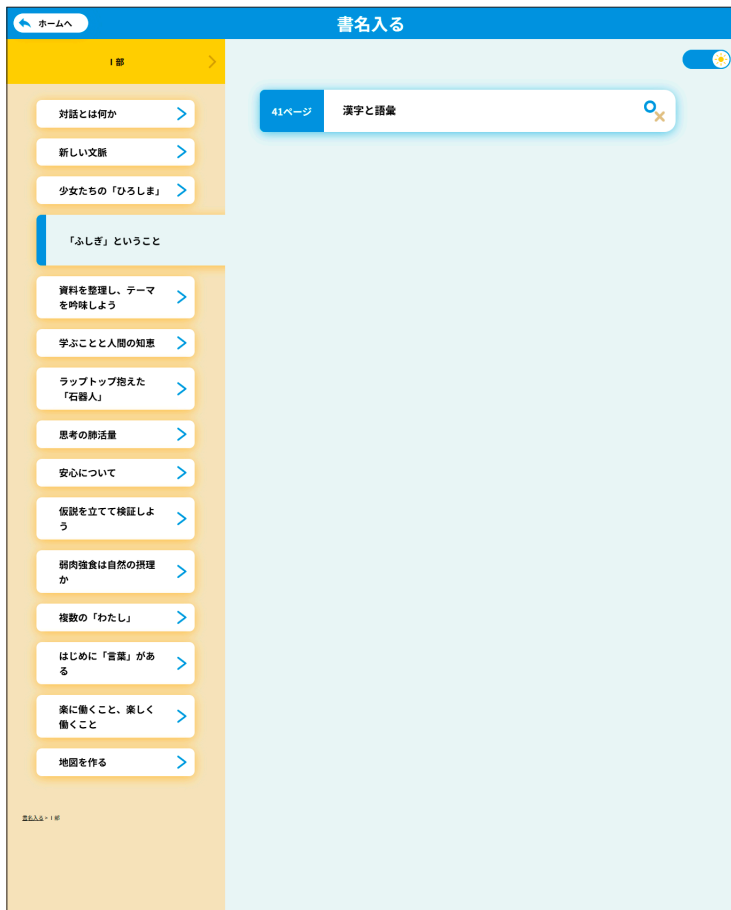
番号 3



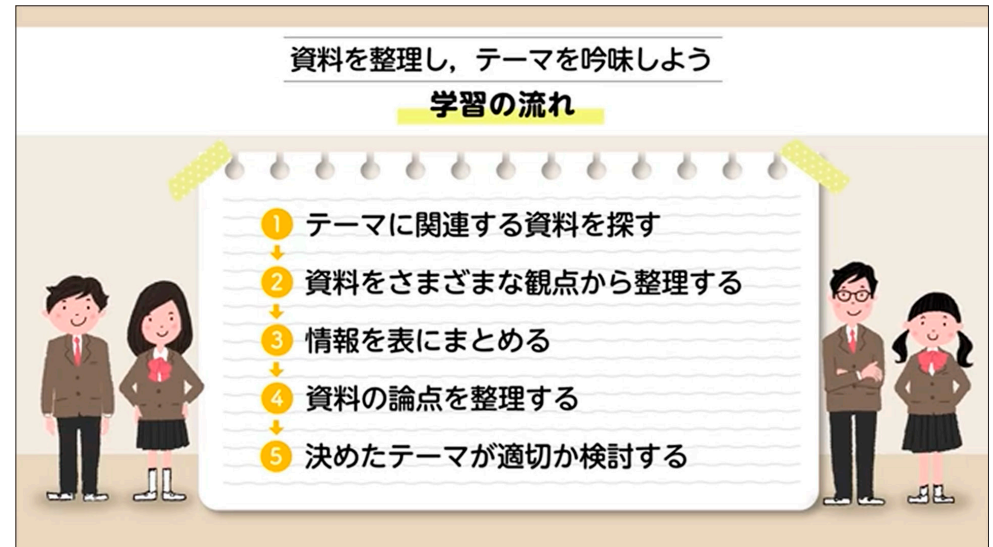
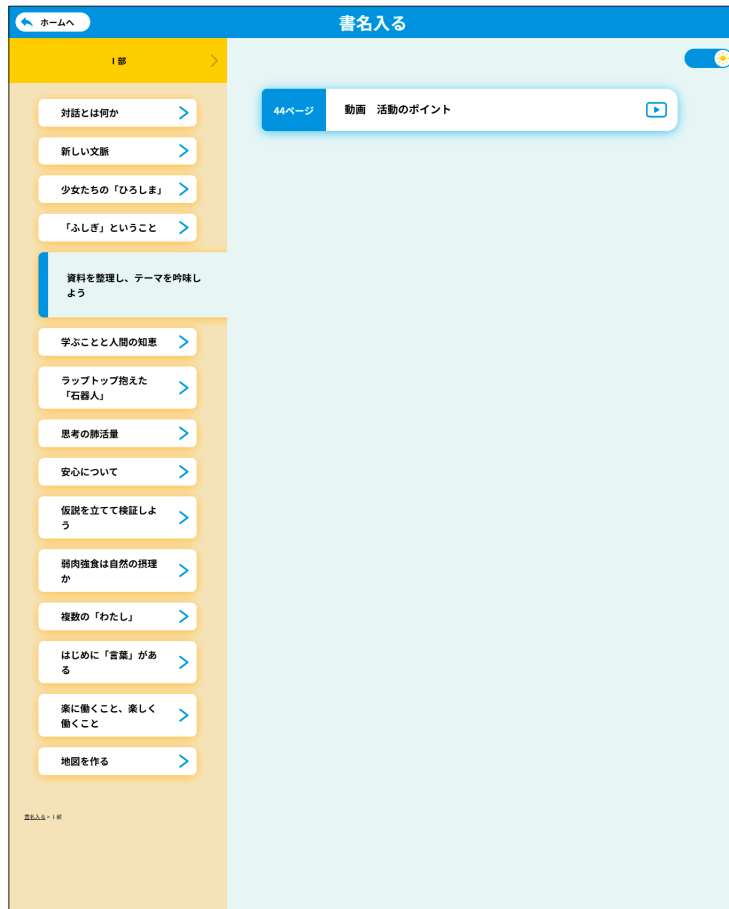
番号 4



番号 5

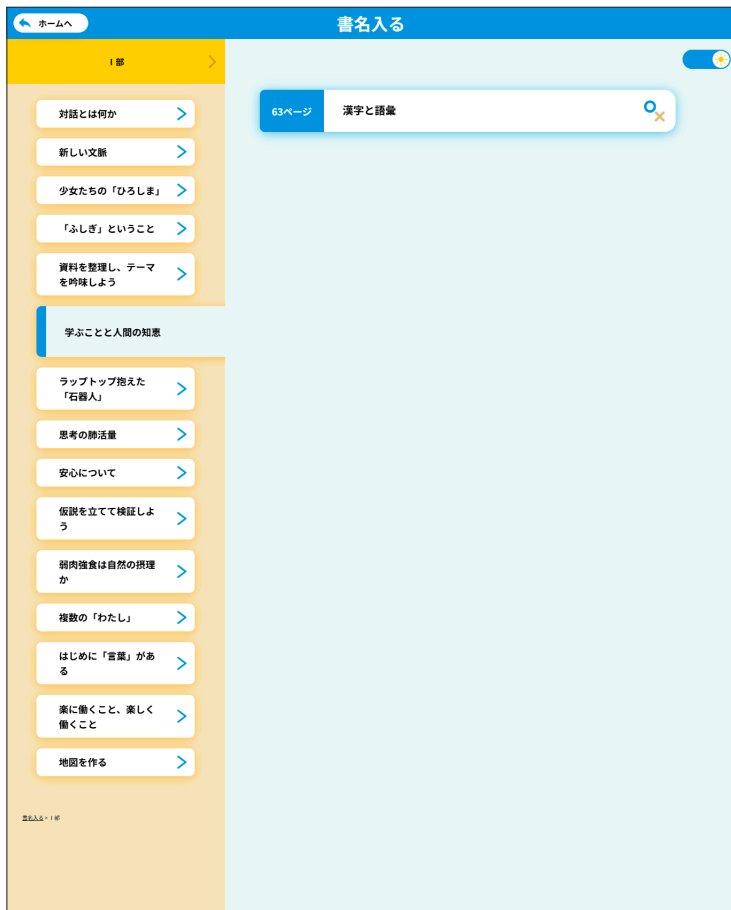


番号 6



44ページ 活動のポイント [動画]

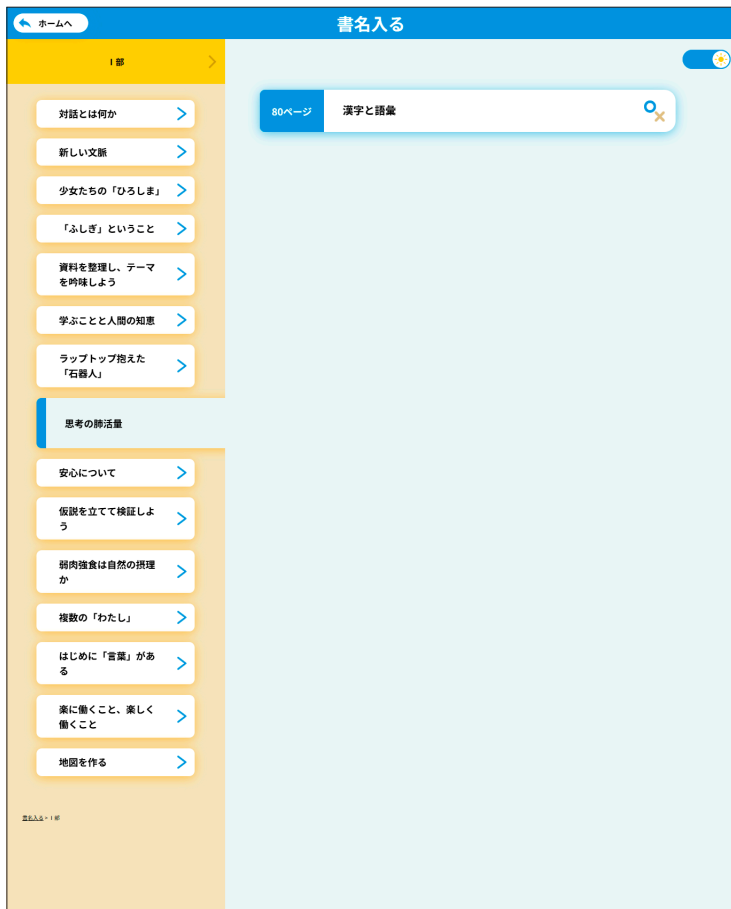
番号 7



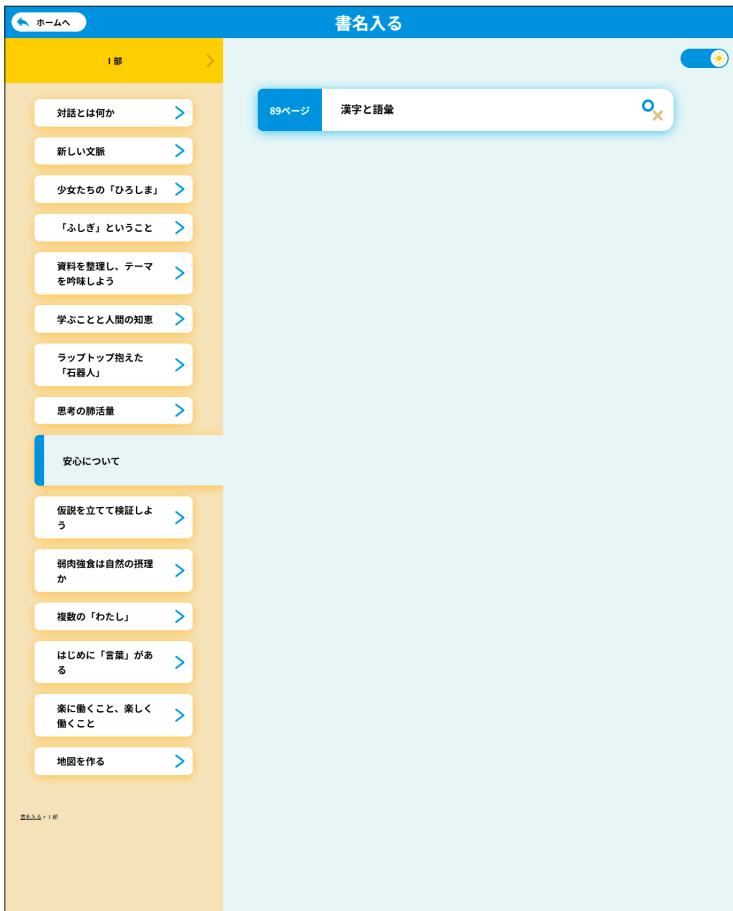
番号 8



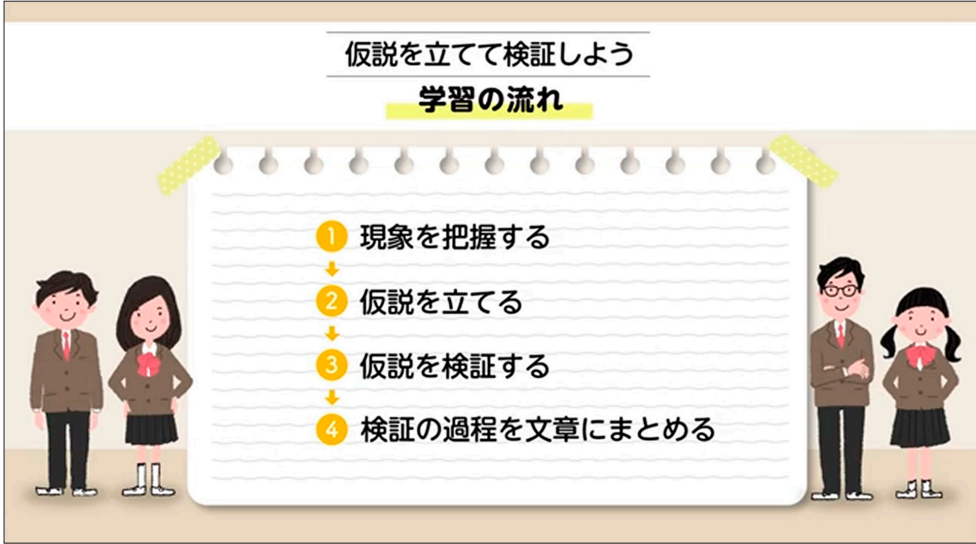
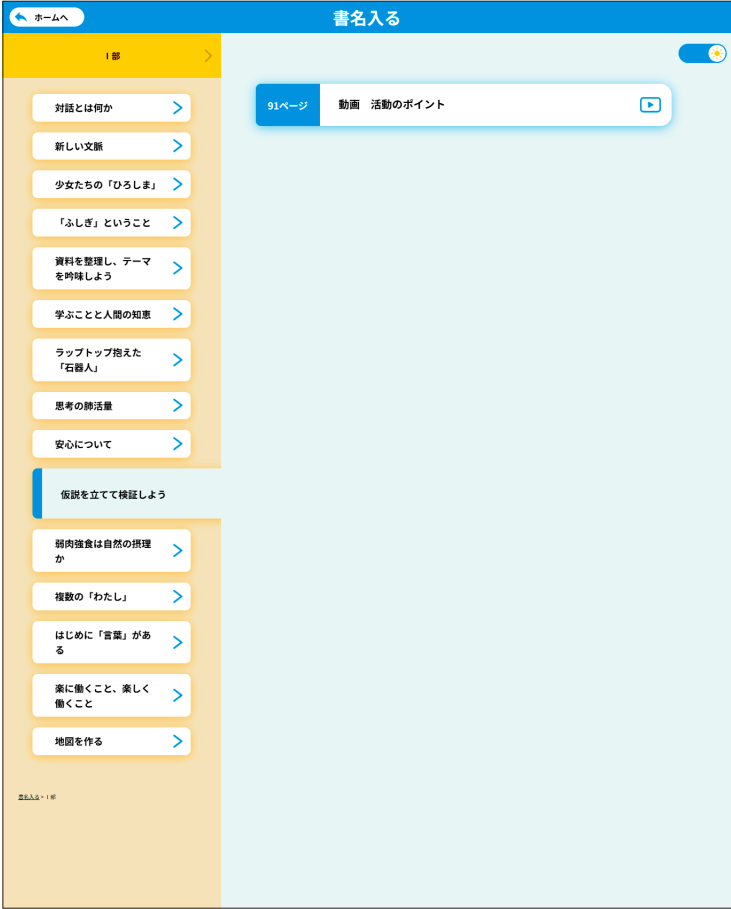
番号 9



番号10

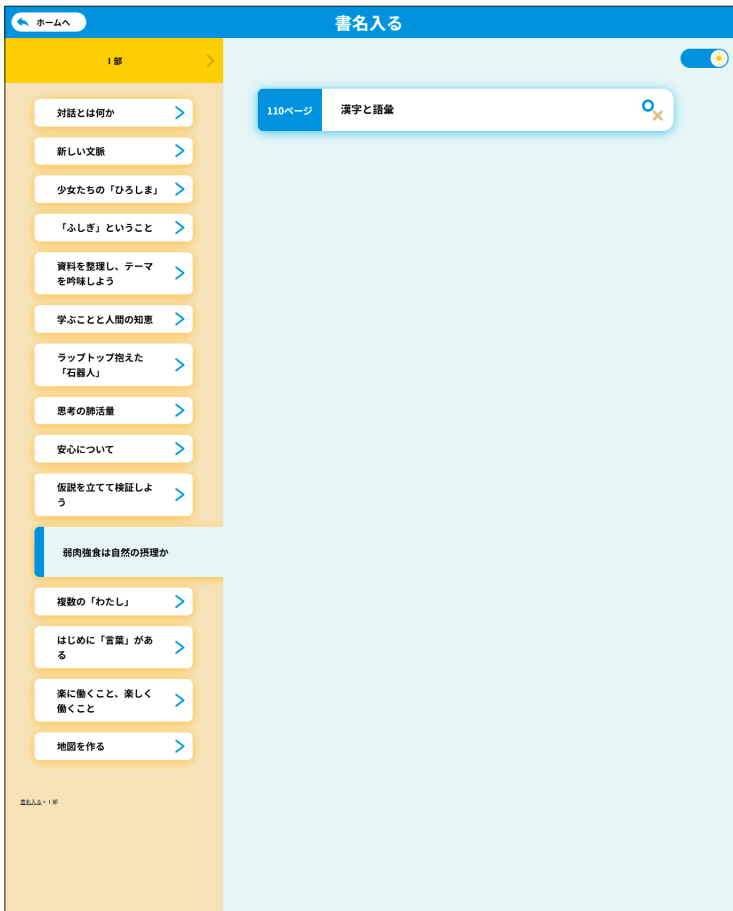


番号 11

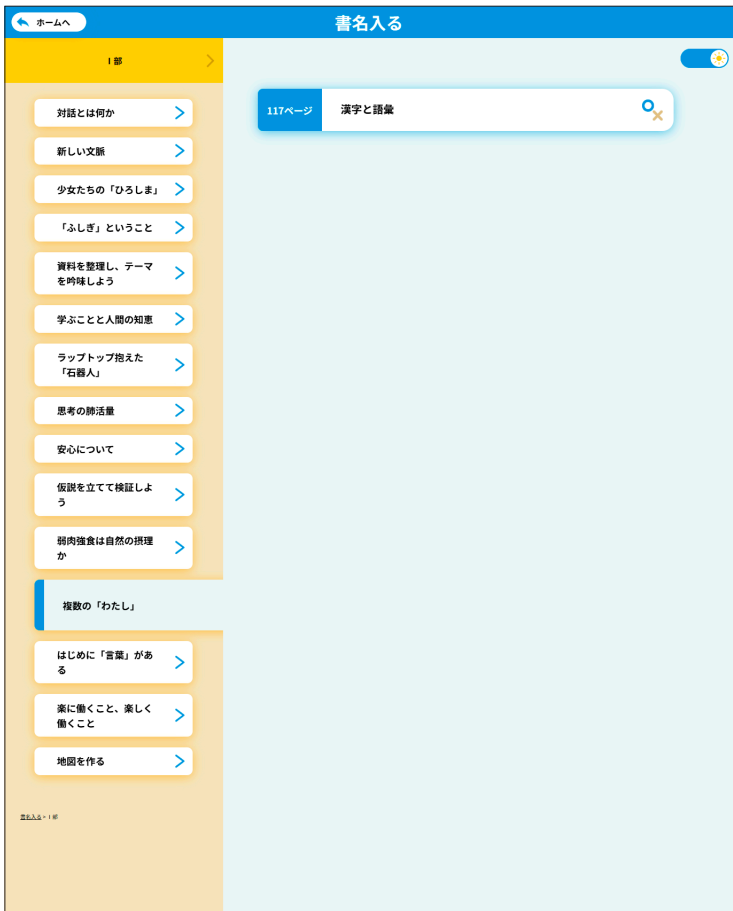


91ページ 活動のポイント [動画]

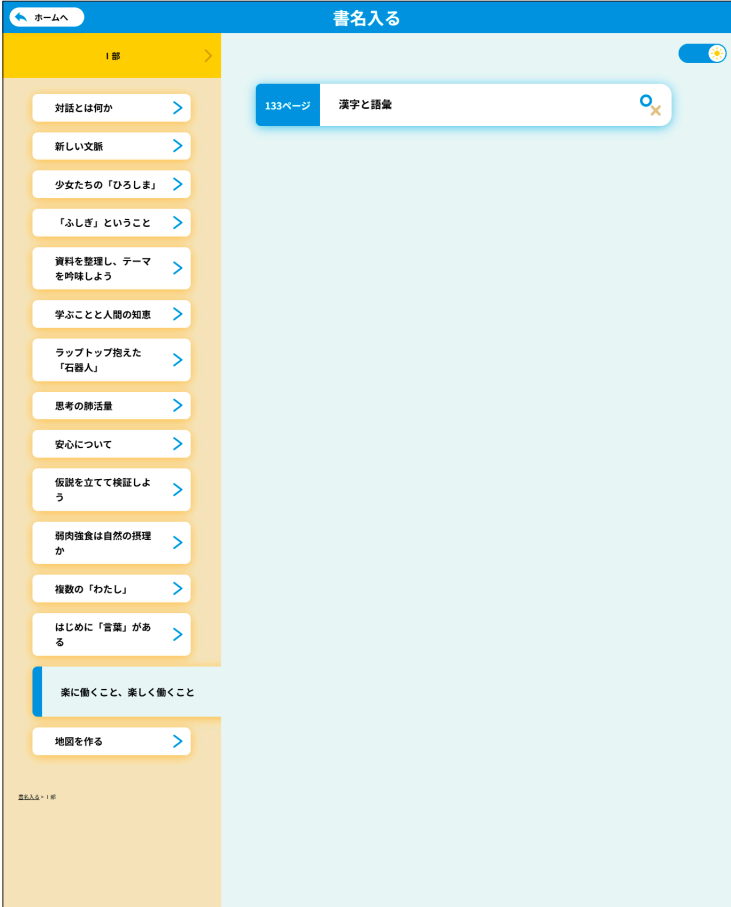
番号 12



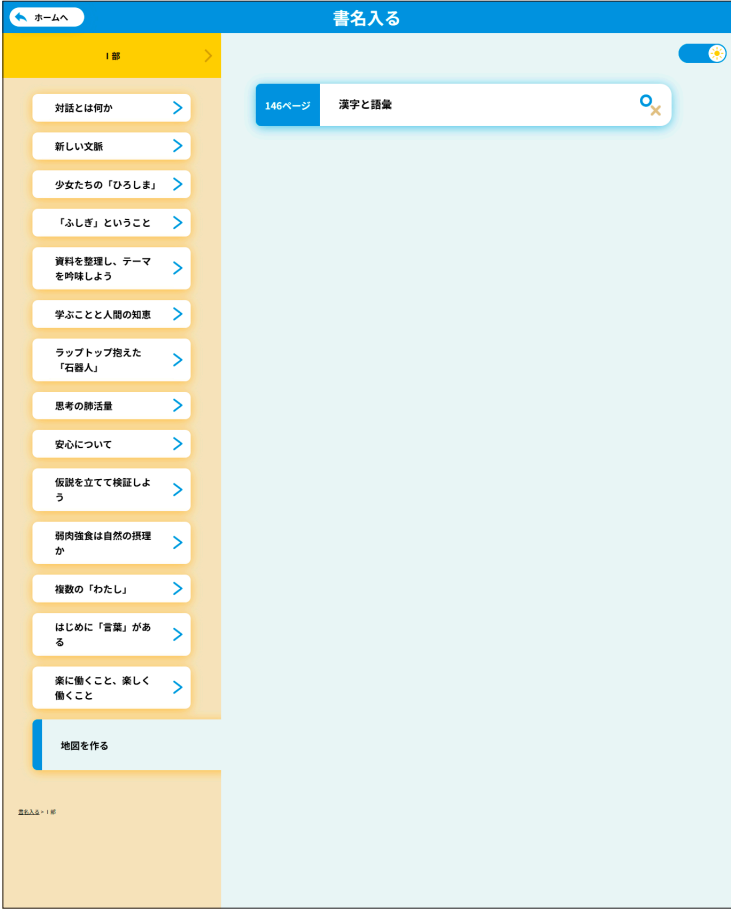
番号 13



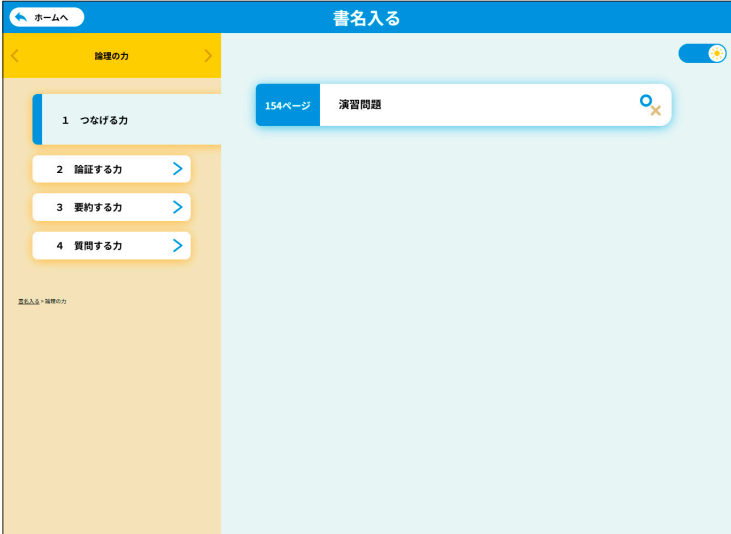
番号 15



番号 16



番号 17



多くの人が日常的に目にしている天気予報。①その用語の意味を正しく理解しているだろうか。②降水確率とは、同じ確率の予報が100回出されたとき、どの程度の確率で1ミリメートル以上の雨が降るかを予測した数値である。③降水確率が50%という予報であれば、50%という予報が百回発表されたとき、そのうちのおよそ50回は1ミリメートル以上の降水があるという意味である。④降水確率の数値が高ければ、雨量が多いと思っている人も少なくない。

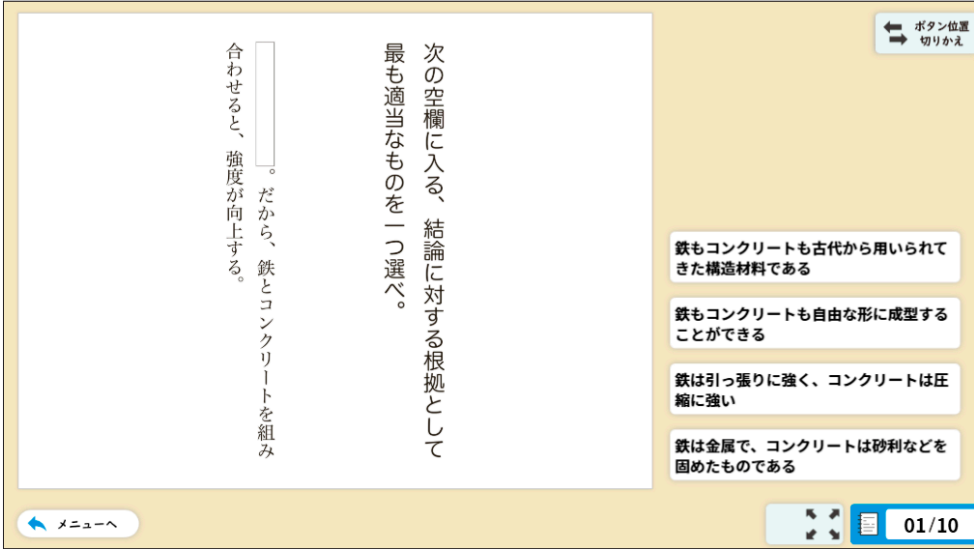
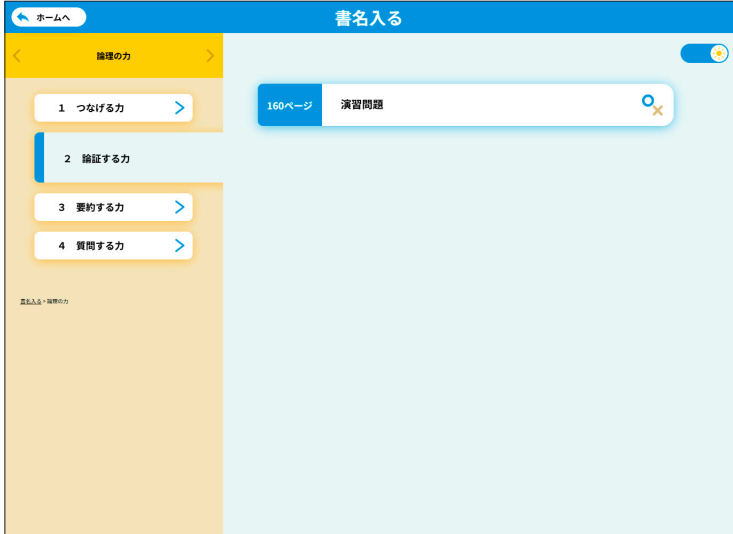
次の文章のどこか一か所に「ところが」を入れるとき、最も適当な箇所を①～④の中から選べ。

①
②
④
③

メニューへ 01/10 ボタン位置 切りかえ

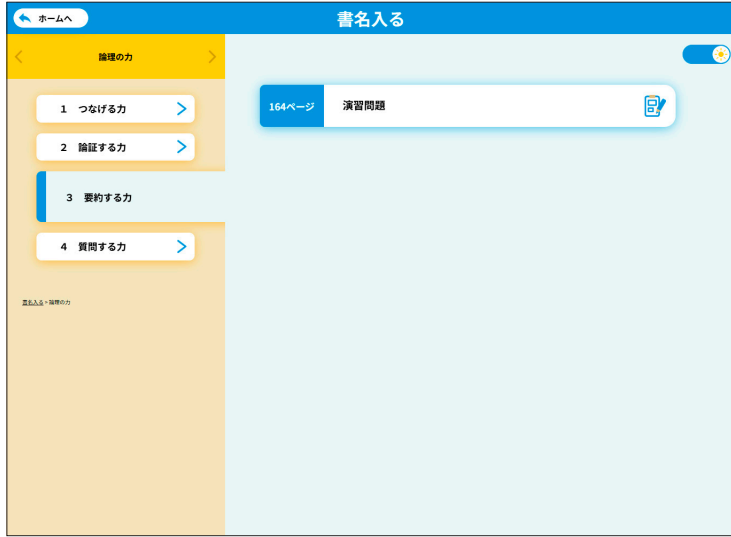
154 ページ 演習問題 「クイズ」

番号 18



160
ページ
演習問題
「クイズ」

番号 19



164 ページ 演習問題「ワークシート」

要約する力

年 組 番 名前

基本練習シート

問 A 次の文章を、三十字程度で要約しなさい。

職業はどうやって選んだらよいだろうか。最近よく言われるのは、「自分の好きなことを仕事にしましょう」である。しかし、例えば、野球が好きだからプロ野球の選手になりたいと思ってもそうそうなれるものでもないし、歌が好きだからといって、みんながみんな歌手としてデビューできるわけではない。したがって、「好きなことを仕事にする」というのは、いささか無理があるように思える。では、どうやって選んだらよいだろう。「世の中の役に立つことをする」という基準で選ぶのである。そうやって選んだ仕事には、「やりがい」というものもついでに、充実した人生を歩むことができる。

問 B 次の文章を、三十字程度で要約しなさい。

『論語』は漢文で書かれている。漢文は、文章の構造がとても簡潔であるうえ、文章を構成する漢語の一つ一つには、微妙な意味の違いがある。特に孔子の言葉は、簡潔な中に深い意味を含んでいるので、正しく理解するのがたいへん難しい。よって、『論語』は、一つ一つの言葉をよく吟味しながら読むことが大切である。また、孔子の生きていた二千五百年以上昔の中国と現在の日本とは、社会の状況はかなり違っている。したがって、『論語』を読むにあたって、時代背景をよく理解することも必要である。

番号 20



168 ページ 演習問題「ワークシート」

質問する力

年 組 番 名前

基本練習シート

問 A 次の文章を読み、「情報の問い」「意味の問い」「価値の問い」を考えよう。

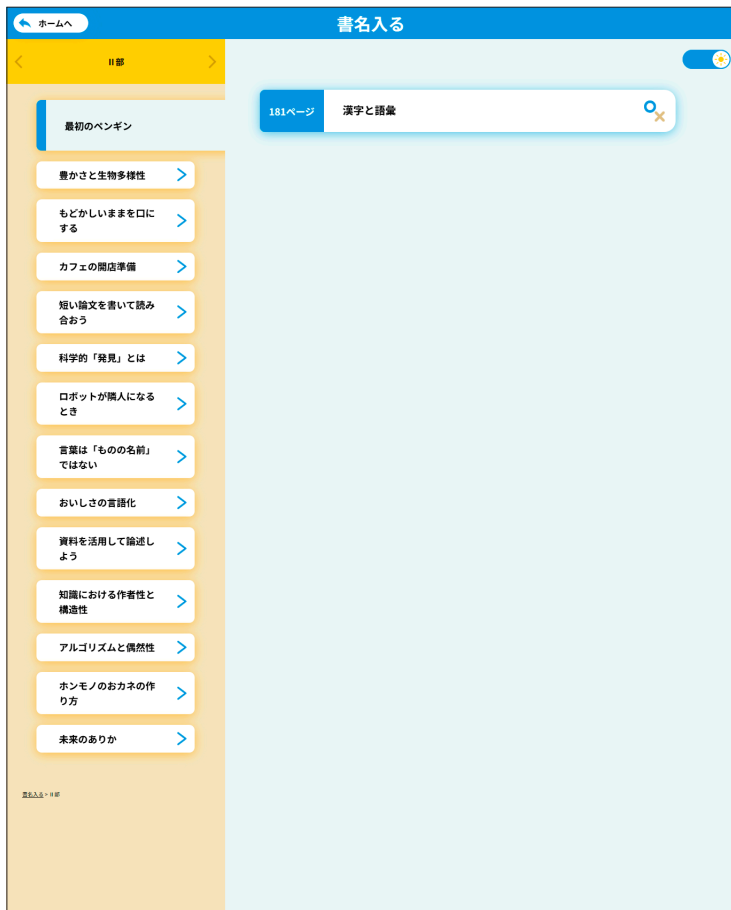
高齢化の進行具合を示す言葉として、高齢化社会、高齢社会、超高齢社会の三つがあります。六十五歳以上の人口が、全人口に対して七パーセントを超えると「高齢化社会」、十四パーセントを超えると「高齢社会」、二十一パーセントを超えると「超高齢社会」とよばれます。日本では、一九七〇年に「高齢化社会」に突入しました。その後高齢化率が急激に上昇して、一九九四年に高齢社会、二〇〇七年に超高齢社会に突入し、現在、世界のどの先進国よりも高い高齢化率となっています。そして、高齢化率は更に上昇すると予測され、二〇四〇年には約三十六パーセント、二〇六〇年には約四十六パーセントに達すると考えられています。

このような急速な高齢化は、医療や福祉の分野に非常に大きな影響を及ぼし、従来の医療制度や老人保険制度では対応しきれない問題が生じてきています。

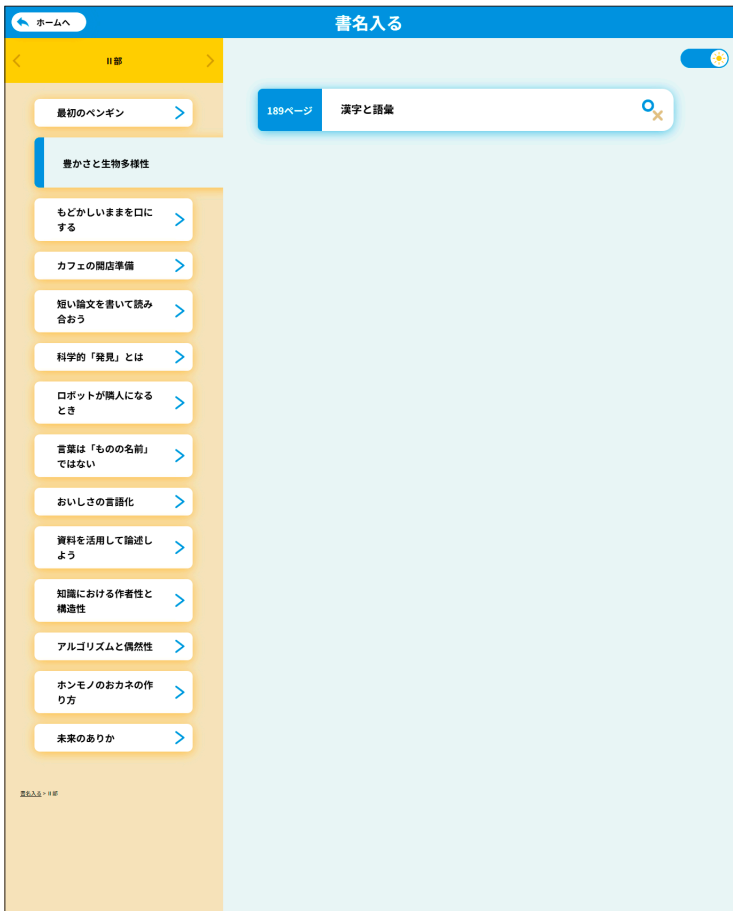
また、現在の日本は核家族が進んでいるため、単独世帯や夫婦のみの世帯、夫婦ともに六十歳以上の世帯が増加しており、特に都市部では、単身者の高齢化率が上昇して、介護できる者がいない、あるいは老人が老人の介護をする世帯が多くなっています。つまり、在宅で介護することが難しくなっているのです。更に、高度経済成長の流れによって、都市部でも地方でも地域社会が崩壊し、地域社会の地縁が失われつつあります。その結果、地域住民どうしの絆が希薄化して孤立する人が多くなり、孤立死の問題も出てきています。

こういった問題を解決するために打ち立てられたのが、「地域包括ケアシステム」です。これは、重度の要介護となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される仕組みのことです。このシステムは、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要です。

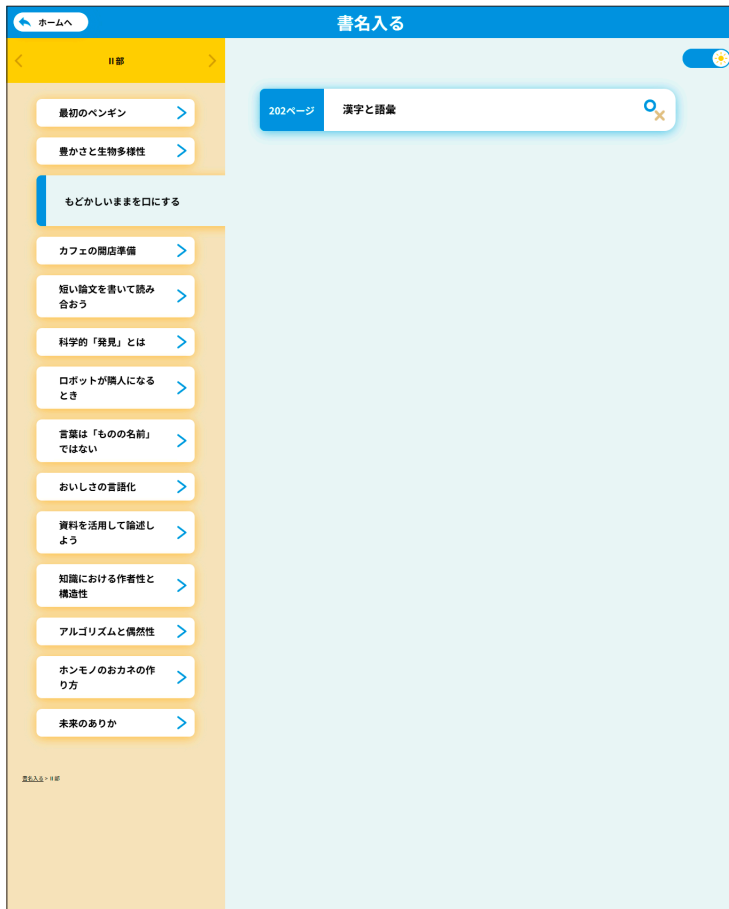
番号 2 1



番号 22



番号 23



番号 24

